

令和5年度
人権に関する意識調査報告書

令和6年3月
浜松市

目次

I. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査事項	1
(3) 調査実施概要	1
(4) 回収状況	1
(5) 報告書内のデータ記述について	1
(6) 回答者の属性	2
II. 調査結果	3
(1) 人権意識について	3
(2) 女性の人権について	18
(3) 子どもの人権について	20
(4) 高齢者の人権について	22
(5) 障がいのある人の人権について	24
(6) 外国人の人権について	26
(7) 同和問題について	28
(8) 性的少数者の人権について	32
(9) その他の人権について	35
(10) 浜松市の進める人権施策について	47
(11) 人権に関する取り組みについて	49
(12) 効果的な啓発活動について	51
(13) 市民一人ひとりが心がけることについて	53
(14) 人権について	55

I. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、人権尊重の意識を高めるために、人権に関するさまざまな施策に取り組んでいます。市民の人権についての意識を把握し、より適切かつ効果的な啓発活動や施策の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として本調査を実施しました。

(2) 調査事項

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ①人権意識について | ⑧性的少数者の人権について |
| ②女性の人権について | ⑨その他の人権について |
| ③子どもの人権について | ⑩浜松市の進める人権施策について |
| ④高齢者の人権について | ⑪人権に関する取り組みについて |
| ⑤障がいのある人の人権について | ⑫効果的な啓発活動について |
| ⑥外国人の人権について | ⑬市民一人ひとりが心がけることについて |
| ⑦同和問題について | ⑭人権について |

(3) 調査実施概要

- | | |
|-------|-------------------------------|
| ①調査地域 | 浜松市全域 |
| ②調査対象 | 浜松市内在住の満18歳以上の者 |
| ③抽出方法 | 住民基本台帳から該当者を無作為抽出 |
| ④調査方法 | 郵送配布、郵送回収（督促状の発送なし）、インターネット回答 |
| ⑤調査期間 | 令和5年11月15日～12月10日 |
| ⑥実施機関 | 浜松市 人権啓発センター |

(4) 回収状況

発送数	回収数	有効回答数	有効回答率
3,000 件	1,005 件 (260 件)	1,002 件 (260 件)	33.4%

()内はインターネット回答の件数

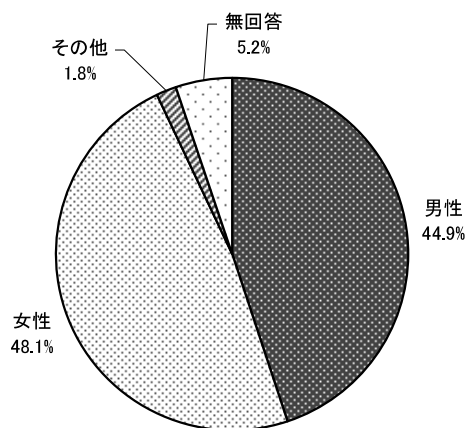
(5) 報告書内のデータ記述について

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、比率の合計が100%にならないことがあります。
- ②各質問の回答は有効回答数を基数とした百分率（%）で示してあります。
- ③質問が複数回答を認めている場合、比率の合計は通常100%を超えます。
- ④図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューターの処理の都合上、省略している箇所があります。
- ⑤クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しません。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがあります。
- ⑥実施期間の関係上、行政区再編前の7区で集計・表記しております。

(6) 回答者の属性

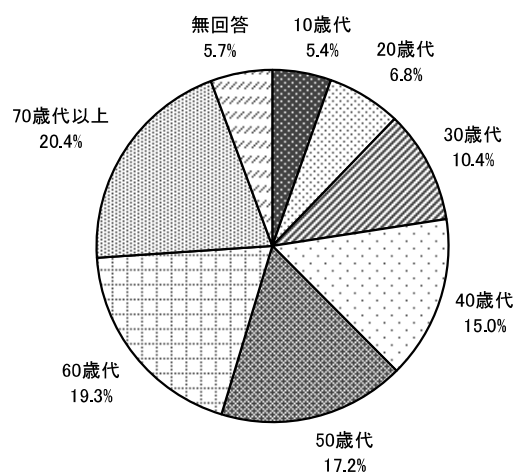
①性別

(N = 1002)



②年齢

(N = 1002)



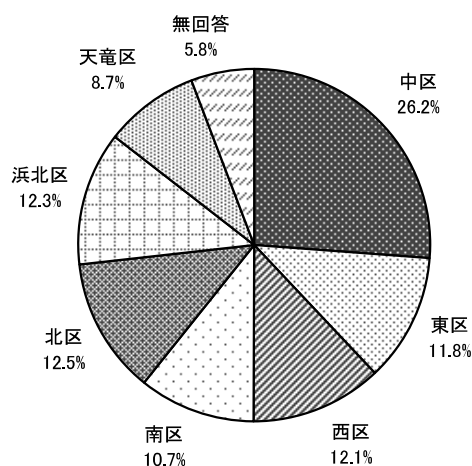
③性別・年齢別構成

(単位: %)

		回答数 (人)	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
全 体		1002	5.4	6.8	10.4	15.0	17.2	19.3	20.4	5.7
性別	男性	450	7.1	7.8	10.9	15.1	18.2	19.6	21.3	0.0
	女性	482	3.7	6.4	11.2	16.8	18.0	21.6	22.0	0.2
	その他	18	22.2	11.1	5.6	5.6	16.7	5.6	11.1	22.2

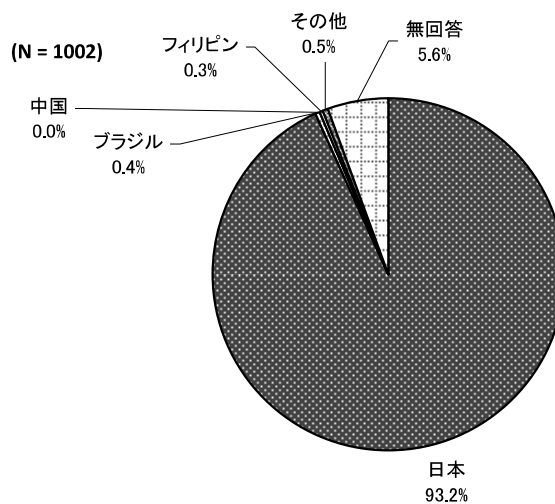
④居住区

(N = 1002)



⑤国籍

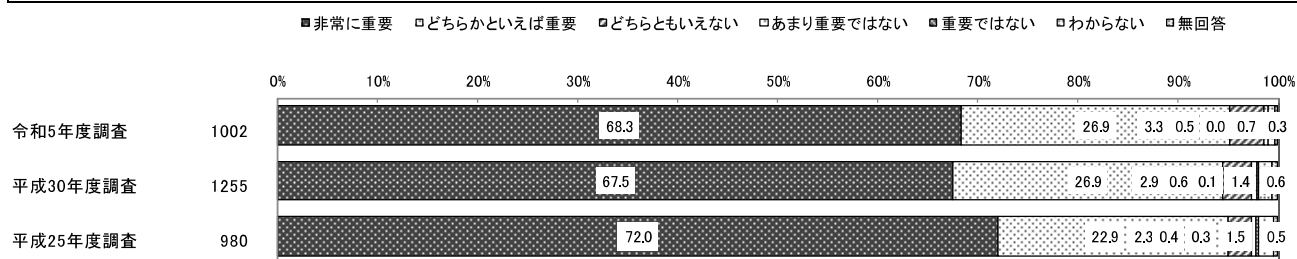
(N = 1002)



Ⅱ. 調査結果

(1) 人権意識について

問1 あなたは人権を尊重することは重要だと思いますか。
(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)



人権の重要度について、「非常に重要」が68.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば重要」が26.9%、「どちらともいえない」が3.3%となっています。

「非常に重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要』は95.2%と高く、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた『重要ではない』は0.5%と低くなっています。

過去の調査と比較すると、『重要』（95.2%）は、平成30年度調査（94.4%）、平成25年度調査（94.9%）とほぼ横ばいとなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

(単位: %)

		回答数 (人)	非常に重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	無回答
全 体		1002	68.3	26.9	3.3	0.5	0.0	0.7	0.3
性別	男性	450	65.1	30.0	3.6	0.4	0.0	0.4	0.4
	女性	482	71.4	23.9	2.9	0.6	0.0	1.0	0.2
	その他	18	55.6	38.9	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	54	75.9	22.2	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	68	70.6	26.5	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0
	30歳代	104	68.3	26.0	4.8	1.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	150	67.3	28.0	4.0	0.0	0.0	0.7	0.0
	50歳代	172	71.5	24.4	2.3	0.0	0.0	1.7	0.0
	60歳代	193	66.8	28.0	4.1	1.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代以上	204	63.7	30.4	2.5	0.5	0.0	1.5	1.5

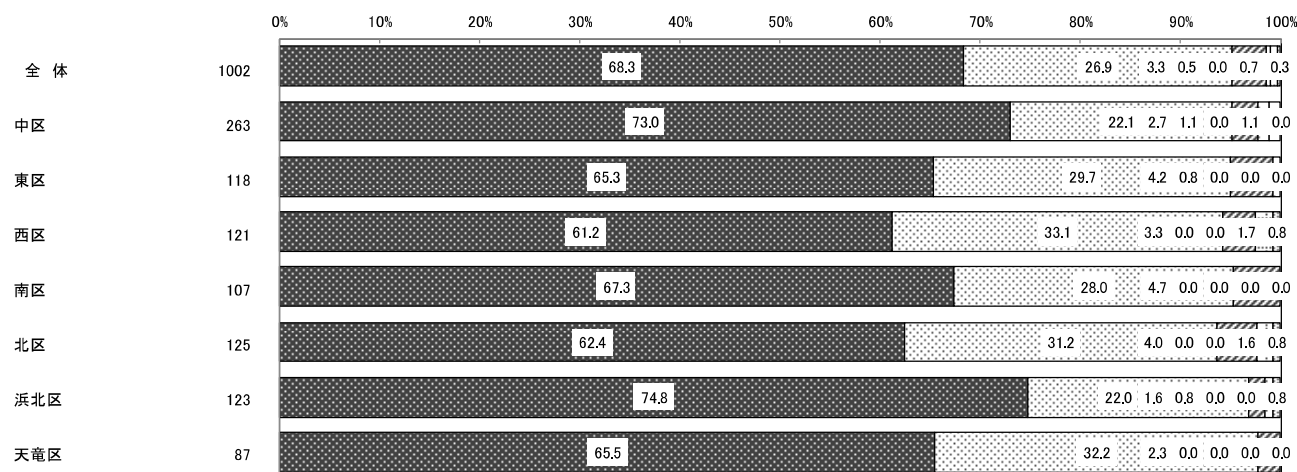
性別でみると、『重要』は男性（95.1%）、女性（95.3%）で大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、『重要』は10歳代が98.1%と最も高くなっています。

性別・年代を問わず『重要』の回答割合は90%を超えており、人権は重要だという認識を持っています。

【居住区別】

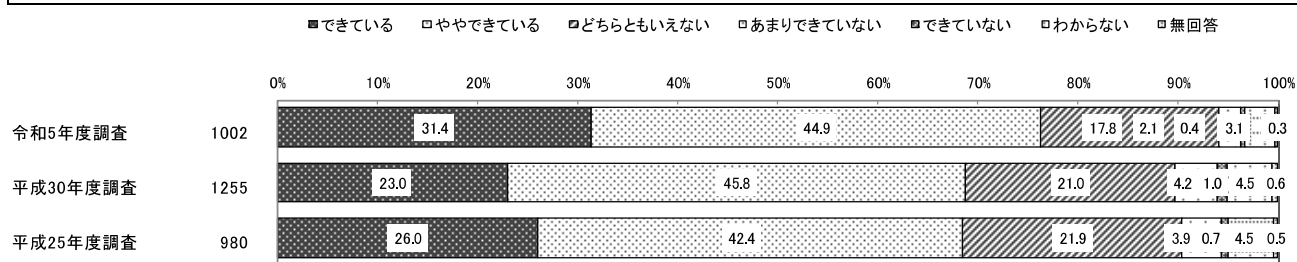
■非常に重要 □どちらかといえば重要 □どちらともいえない □あまり重要ではない ■重要ではない □わからない □無回答



居住区別でみると、「非常に重要」の回答割合は浜北区（74.8%）が最も高くなりました。

なお、『重要』はすべての区で90%を超えていることから、人権が重要という認識に地域差はほとんどないといえます。

問2 あなたは、自分以外の人の人権を尊重することができていると思われますか。
(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)



自分以外の人の人権を尊重しているかについて「ややできている」が44.9%と最も高く、次いで「できている」が31.4%、「どちらともいえない」が17.8%となっています。

「できている」と「ややできている」を合わせた『できている』は76.3%となり、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていない』の2.5%を73.8ポイント上回りました。

過去の調査と比較すると、『できている』（76.3%）は、平成30年度調査（68.8%）、平成25年度調査（68.4%）より7ポイント以上高くなっています。

【性別・年代別】

(単位: %)

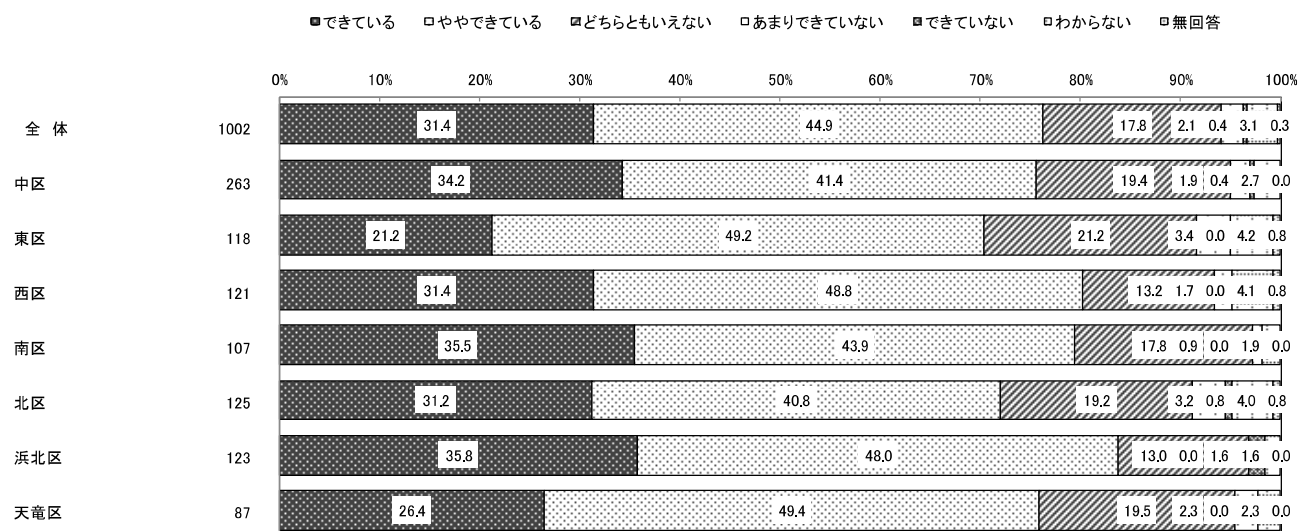
		回答数 (人)	できている	ややできている	どちらともいえない	あまりできていない	できていない	わからない	無回答
全 体		1002	31.4	44.9	17.8	2.1	0.4	3.1	0.3
性 別	男性	450	32.2	42.4	18.7	2.2	0.7	3.1	0.7
	女性	482	31.1	47.3	17.2	1.5	0.2	2.7	0.0
	その他	18	22.2	50.0	5.6	16.7	0.0	5.6	0.0
年 代	10歳代	54	50.0	42.6	5.6	0.0	0.0	1.9	0.0
	20歳代	68	36.8	47.1	11.8	1.5	0.0	2.9	0.0
	30歳代	104	33.7	42.3	19.2	2.9	0.0	1.9	0.0
	40歳代	150	29.3	44.7	22.7	0.7	2.0	0.7	0.0
	50歳代	172	30.8	44.2	19.2	1.2	0.0	4.7	0.0
	60歳代	193	28.5	45.6	17.6	4.1	0.0	4.1	0.0
	70歳代以上	204	28.9	47.1	17.6	1.5	0.5	2.9	1.5

性別でみると、『できている』は、女性（78.4%）の方が男性（74.6%）より3.8ポイント高くなっています。

年代別でみると、『できている』は10歳代が92.6%で最も高くなっています。

性別・年代を問わず『できている』が『できていない』を大幅に上回っています。

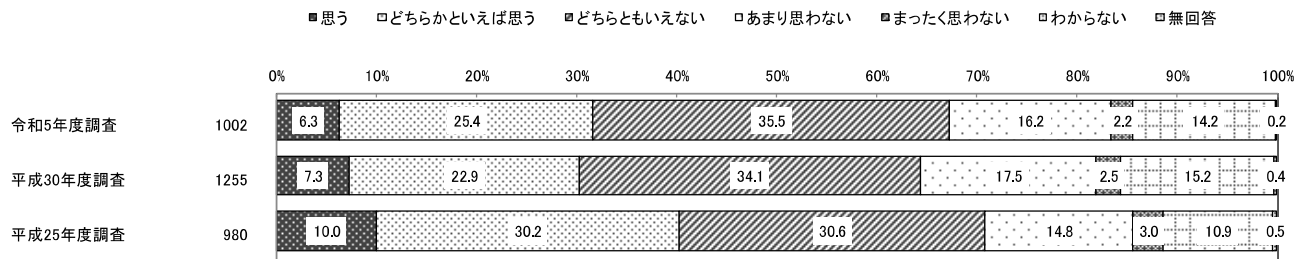
【居住区別】



居住区別でみると、『できている』は浜北区（83.8%）が最も高くなりました。

なお、すべての区で『できている』が『できていない』を大幅に上回りました。

問3 浜松市では、「人権尊重の意識」が生活の中に定着していると思われますか。
(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)



人権尊重の意識が生活の中に定着しているかについて、「どちらともいえない」が35.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば思う」が25.4%、「あまり思わない」が16.2%となっています。

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』は31.7%となり、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』の18.4%を13.3ポイント上回りました。

過去の調査と比較すると、『思う』（31.7%）は、平成25年度調査（40.2%）より8.5ポイント低くなっているものの、平成30年度調査（30.2%）からは1.5ポイント高くなりました。

【性別・年代別】

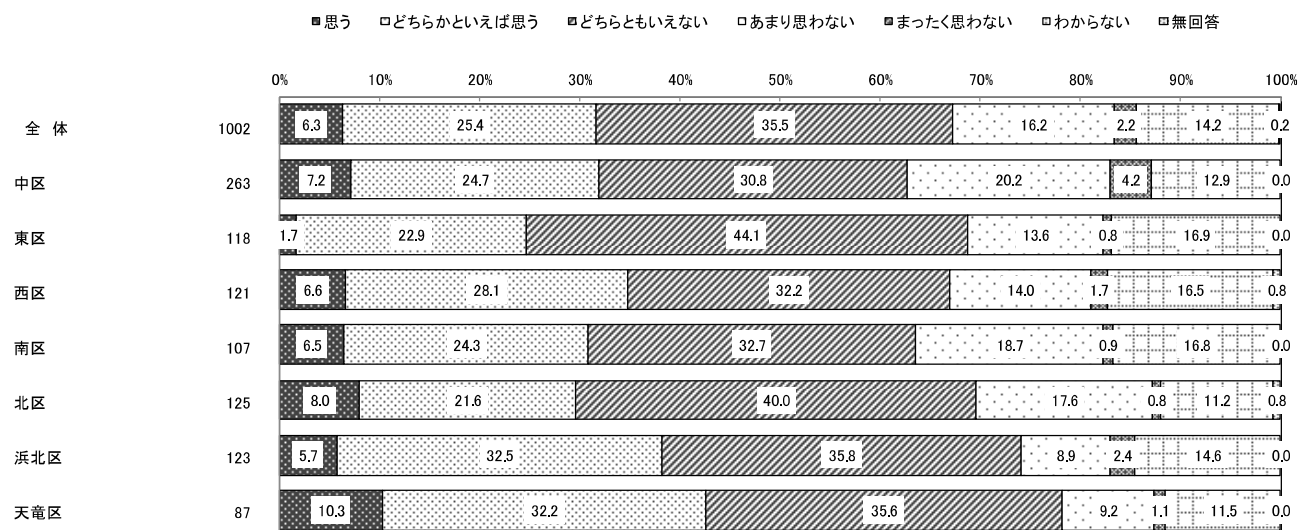
(単位: %)

		回答数 (人)	思う	どちらか といえば 思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	まったく 思わない	わからない	無 回答
全 体		1002	6.3	25.4	35.5	16.2	2.2	14.2	0.2
性 別	男性	450	8.2	26.0	35.8	14.4	2.7	12.4	0.4
	女性	482	5.2	26.3	34.9	16.4	1.5	15.8	0.0
	その他	18	0.0	16.7	27.8	38.9	5.6	11.1	0.0
年 代	10歳代	54	11.1	35.2	24.1	13.0	1.9	14.8	0.0
	20歳代	68	7.4	38.2	25.0	14.7	2.9	11.8	0.0
	30歳代	104	7.7	22.1	36.5	12.5	4.8	16.3	0.0
	40歳代	150	4.7	21.3	37.3	22.0	5.3	9.3	0.0
	50歳代	172	5.2	24.4	34.3	14.5	2.3	19.2	0.0
	60歳代	193	5.7	25.9	38.3	16.1	0.0	14.0	0.0
	70歳代以上	204	7.8	26.5	37.3	14.2	0.0	13.2	1.0

性別でみると、『思う』は、男性（34.2%）の方が女性（31.5%）より2.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、『思う』の割合が10歳代（46.3%）、20歳代（45.6%）では40%以上と高くなっています。

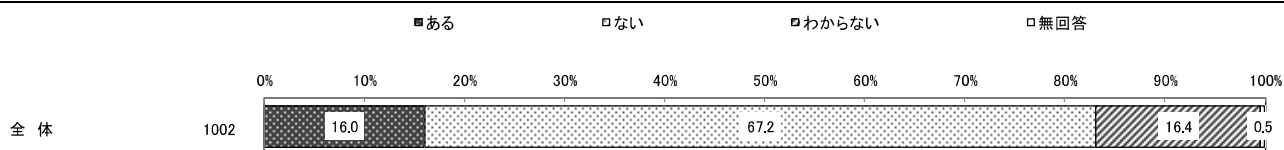
【居住区別】



居住区別でみると、『思う』は、天竜区（42.5%）が最も高くなりました。

すべての区で『思う』が『思わない』を上回りました。

問4 あなたは、この5年ほどの間に、自己的人権が侵害されたと思われたことはありますか。
(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)



自己的人権が侵害されたと思った事例の有無について、「ない」が67.2%と最も高く、次いで「わからない」が16.4%、「ある」が16.0%となっています。

【性別・年代別】

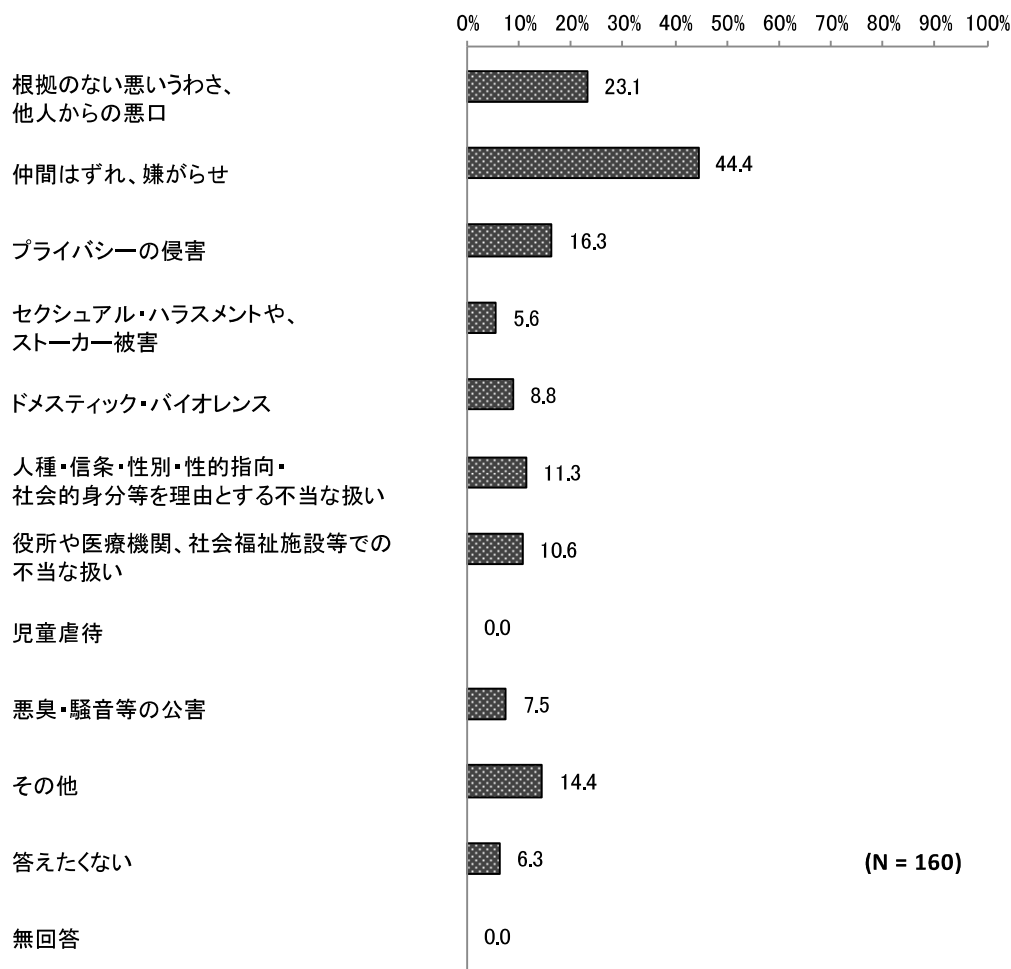
(単位: %)

		回答数 (人)	ある	ない	わからない	無回答
性別	全 体	1002	16.0	67.2	16.4	0.5
	男性	450	13.3	69.1	16.9	0.7
	女性	482	17.0	67.4	15.1	0.4
	その他	18	50.0	27.8	22.2	0.0
年代	10歳代	54	11.1	75.9	13.0	0.0
	20歳代	68	14.7	66.2	19.1	0.0
	30歳代	104	18.3	60.6	21.2	0.0
	40歳代	150	24.0	60.0	16.0	0.0
	50歳代	172	19.2	62.8	18.0	0.0
	60歳代	193	11.4	74.6	13.0	1.0
	70歳代以上	204	10.8	73.0	14.7	1.5

性別でみると、「ある」は女性（17.0%）の方が男性（13.3%）より3.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、「ある」は40歳代（24.0%）が最も高く、70歳代以上（10.8%）が最も低くなっています。

問5 問4で「1 ある」と回答した方にお聞きします。それは、どのような内容ですか。
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



自分の人権が侵害されたと思った事例の内容について、「仲間はずれ、嫌がらせ」が44.4%と最も高く、次いで「根拠のない悪いうわさ、他人からの悪口」が23.1%、「プライバシーの侵害」が16.3%となっています。

【性別・年代別】

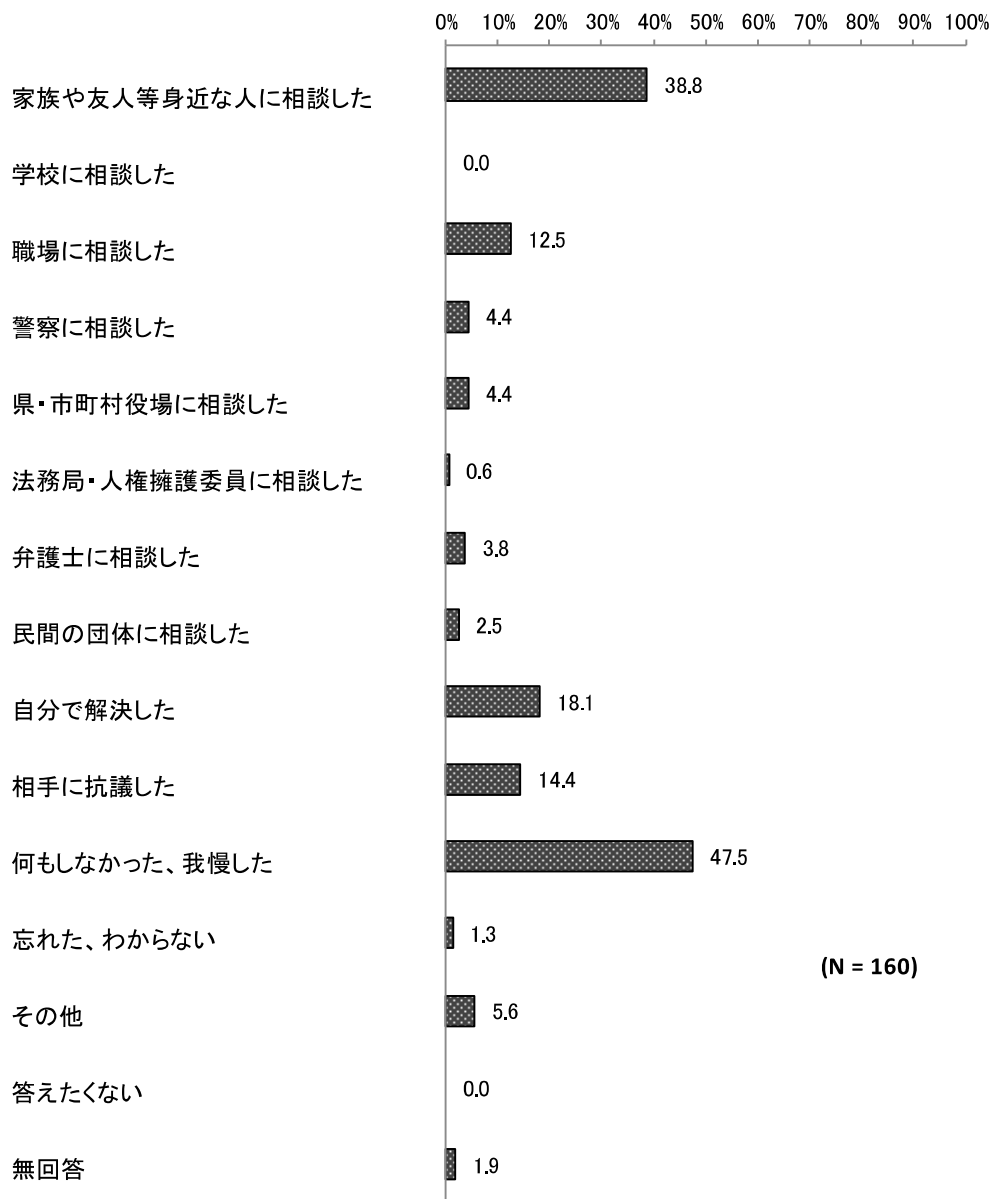
(単位: %)

		回答数(人)	根拠のない悪口、他人からの悪口	仲間はずれ、嫌がらせ	プライバシーの侵害	セクシュアル・ハラスメントや、ストーカー被害	ドメスティック・バイオレンス	社会的身分等を理由とする不当な扱い	人種・信条・性別・性的指向・社会的身分等を理由とする不当な扱い	役所や医療機関、社会福祉施設等での不当な扱い	児童虐待	悪臭・騒音等の公害	その他	答えたくない	無回答
全 体		160	23.1	44.4	16.3	5.6	8.8	11.3	10.6	0.0	7.5	14.4	6.3	0.0	
性別	男性	60	26.7	46.7	21.7	1.7	3.3	15.0	11.7	0.0	3.3	13.3	5.0	0.0	
	女性	82	20.7	41.5	12.2	9.8	13.4	7.3	8.5	0.0	11.0	18.3	4.9	0.0	
	その他	9	33.3	44.4	22.2	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	
年代	10歳代	6	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	
	20歳代	10	20.0	40.0	40.0	20.0	10.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30歳代	19	10.5	47.4	5.3	10.5	10.5	15.8	5.3	0.0	0.0	21.1	15.8	0.0	
	40歳代	36	19.4	50.0	13.9	5.6	16.7	16.7	11.1	0.0	13.9	13.9	2.8	0.0	
	50歳代	33	27.3	63.6	18.2	6.1	3.0	12.1	9.1	0.0	9.1	15.2	3.0	0.0	
	60歳代	22	31.8	27.3	13.6	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	4.5	18.2	4.5	0.0	
	70歳代以上	22	31.8	22.7	22.7	4.5	9.1	0.0	13.6	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	

性別でみると、「プライバシーの侵害」は男性（21.7%）の方が女性（12.2%）より9.5ポイント高く、「ドメスティック・バイオレンス」は女性（13.4%）の方が男性（3.3%）より10.1ポイント高くなっています。

年代別でみると、「仲間はずれ、嫌がらせ」は20歳代から50歳代にかけて4割以上と高くなっています。

問6 問4で「1 ある」と回答した方にお聞きします。
 あなたは自分の人権が侵害されたと思われたときどうしましたか。
 (当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



自分の人権が侵害されたと思った時にどうしたかについて、「何もしなかった、我慢した」が47.5%と最も高く、次いで「家族や友人等身近な人に相談した」が38.8%、「自分で解決した」が18.1%となっています。

【性別・年代別】

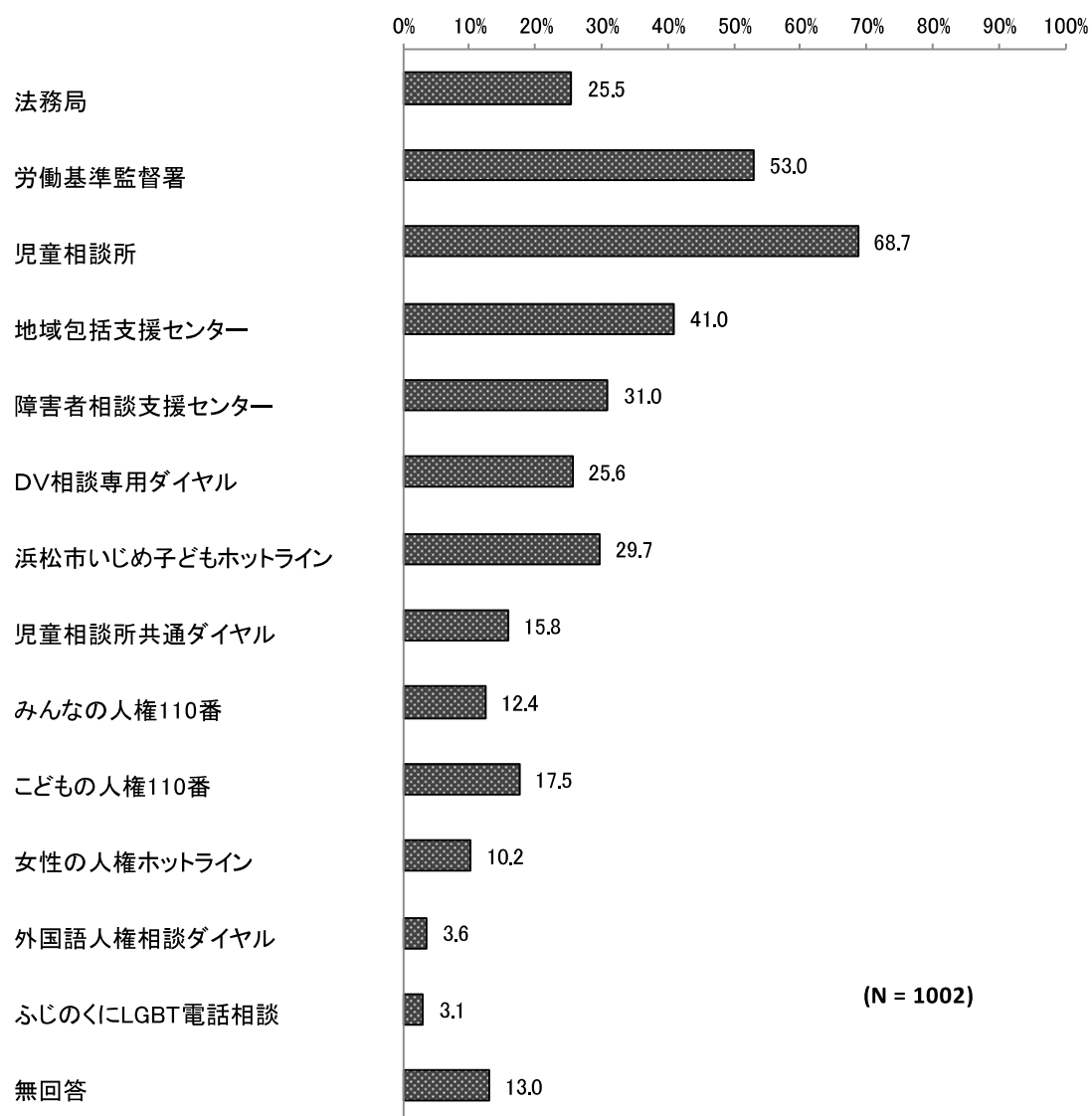
(単位: %)

		回答数(人)	家族や友人等身近な人に相談した	学校に相談した	職場に相談した	警察に相談した	県・市町村役場に相談した	法務局・人権擁護委員に相談した	弁護士に相談した	民間の団体に相談した	自分で解決した	相手に抗議した	何もしなかった、我慢した	忘れた、わからない	その他	答えたくない	無回答
全 体		160	38.8	0.0	12.5	4.4	4.4	0.6	3.8	2.5	18.1	14.4	47.5	1.3	5.6	0.0	1.9
性別	男性	60	30.0	0.0	10.0	3.3	3.3	1.7	1.7	1.7	16.7	15.0	58.3	0.0	8.3	0.0	0.0
	女性	82	53.7	0.0	15.9	4.9	6.1	0.0	4.9	3.7	19.5	14.6	36.6	0.0	4.9	0.0	3.7
	その他	9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	66.7	11.1	0.0	0.0	0.0
年代	10歳代	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	20歳代	10	40.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	19	52.6	0.0	26.3	5.3	21.1	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	47.4	0.0	5.3	0.0	0.0
	40歳代	36	47.2	0.0	13.9	8.3	0.0	2.8	8.3	2.8	8.3	27.8	41.7	0.0	8.3	0.0	0.0
	50歳代	33	54.5	0.0	21.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	18.2	9.1	42.4	0.0	6.1	0.0	3.0
	60歳代	22	22.7	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5	27.3	13.6	54.5	0.0	4.5	0.0	4.5
	70歳代以上	22	31.8	0.0	0.0	9.1	4.5	0.0	4.5	4.5	36.4	13.6	40.9	0.0	9.1	0.0	4.5

性別でみると、「何もしなかった、我慢した」は男性（58.3%）の方が女性（36.6%）より21.7ポイント高くなっています。「家族や友人等身近な人に相談した」は女性（53.7%）の方が男性（30.0%）より23.7ポイント高くなっています。

年代別でみると、「家族や友人等身近な人に相談した」は20歳代から50歳代にかけて4割以上と高くなっています。

問7 人権に関する相談窓口として、次のものがあります。
あなたが知っている相談窓口の番号すべてに、○をつけてください。



相談窓口の認知度について、「児童相談所」が68.7%と最も高く、次いで「労働基準監督署」が53.0%、「地域包括支援センター」が41.0%となっています。

【性別・年代別】

(単位: %)

		回答数(人)	法務局	労働基準監督署	児童相談所	地域包括支援センター	障害者相談支援センター	DV相談専用ダイヤル	浜松市いじめ子どもホットライン	児童相談所共通ダイヤル	みんなの人権110番	こどもの人権110番	女性の人権ホットライン	外国語人権相談ダイヤル	ふじのくにLGBT電話相談	無回答
全 体		1002	25.5	53.0	68.7	41.0	31.0	25.6	29.7	15.8	12.4	17.5	10.2	3.6	3.1	13.0
性別	男性	450	30.4	57.8	65.3	32.7	25.6	22.9	25.3	14.9	13.1	13.8	6.4	3.8	2.9	12.7
	女性	482	21.4	50.4	74.1	50.4	37.6	29.0	34.4	16.8	12.0	19.5	13.5	3.7	3.3	10.6
	その他	18	16.7	44.4	66.7	22.2	16.7	11.1	27.8	11.1	16.7	38.9	22.2	5.6	0.0	22.2
年代	10歳代	54	13.0	22.2	66.7	16.7	27.8	29.6	68.5	25.9	29.6	44.4	9.3	3.7	9.3	7.4
	20歳代	68	22.1	38.2	70.6	23.5	22.1	23.5	36.8	17.6	13.2	19.1	11.8	2.9	2.9	16.2
	30歳代	104	21.2	53.8	73.1	29.8	26.0	26.9	32.7	15.4	10.6	12.5	8.7	1.9	1.9	15.4
	40歳代	150	17.3	57.3	77.3	34.0	28.0	26.7	38.7	12.7	10.0	16.7	14.0	4.7	4.0	10.7
	50歳代	172	26.2	61.6	69.2	37.8	30.2	25.6	26.2	15.7	11.0	16.3	11.6	4.7	2.3	12.2
	60歳代	193	24.4	61.7	73.6	50.8	37.3	31.1	24.9	17.6	11.9	15.5	7.8	4.7	2.6	8.8
	70歳代以上	204	38.2	51.0	60.3	59.8	36.8	19.6	18.6	13.7	13.2	14.2	9.8	2.9	2.5	12.3

性別でみると、「法務局」は男性(30.4%)の方が女性(21.4%)より9.0ポイント高くなっています。「地域包括支援センター」は女性(50.4%)の方が男性(32.7%)より17.7ポイント、「障害者相談支援センター」は女性(37.6%)の方が男性(25.6%)より12.0ポイント高くなっています。

年代別でみると、「地域包括支援センター」は年代が上がるにつれて高くなっています。

【問6で「自分で解決した」「何もしなかった、我慢した」と回答した人との関連】

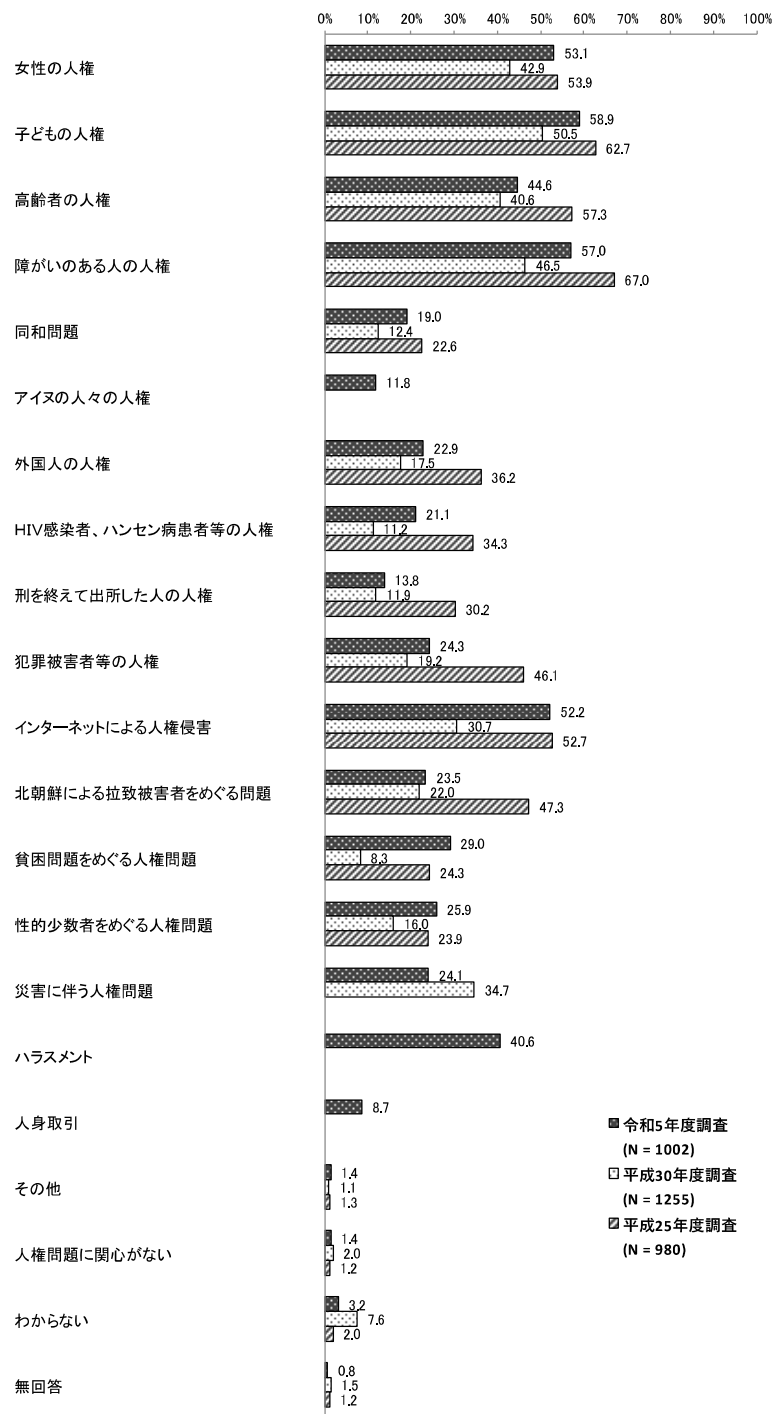
(単位: %)

		回答数(人)	法務局	労働基準監督署	児童相談所	地域包括支援センター	障害者相談支援センター	DV相談専用ダイヤル	浜松市いじめ子どもホットライン	児童相談所共通ダイヤル	みんなの人権110番	こどもの人権110番	女性の人権ホットライン	外国語人権相談ダイヤル	ふじのくにLGBT電話相談	無回答
全 体		160	24.4	56.9	56.3	34.4	23.1	18.1	20.6	15.0	8.8	13.1	10.0	3.1	2.5	15.6
問 6	自分で解決した	29	44.8	58.6	69.0	51.7	34.5	20.7	20.7	13.8	13.8	20.7	13.8	0.0	0.0	6.9
	何もしなかった、我慢した	76	21.1	56.6	50.0	32.9	21.1	17.1	18.4	17.1	7.9	10.5	5.3	5.3	3.9	18.4

問6で〈自分で解決した〉と〈何もしなかった、我慢した〉と回答した人が問7でどのような回答をしているかをみたところ、「児童相談所共通ダイヤル」「外国語人権相談ダイヤル」「ふじのくにLGBT電話相談」を除いたすべての相談窓口で〈自分で解決した〉が高くなっています。

〈自分で解決した〉人は〈何もしなかった、我慢した〉人よりも、人権に関する相談窓口の認知度が高く、積極的な行動をとれたことがうかがえます。

問8 次の人権問題のうち、あなたに関心のある人権問題はどれですか。
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



関心のある人権について、「子どもの人権」が58.9%と最も高く、次いで「障がいのある人の人権」が57.0%、「女性の人権」が53.1%となっています。

過去の調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」は平成30年度調査（30.7%）より21.5ポイント高くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「災害に伴う人権問題」は平成30年度調査から、「アイヌの人々の人権」「ハラスメント」「人身取引」は令和5年度調査のみの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位: %)

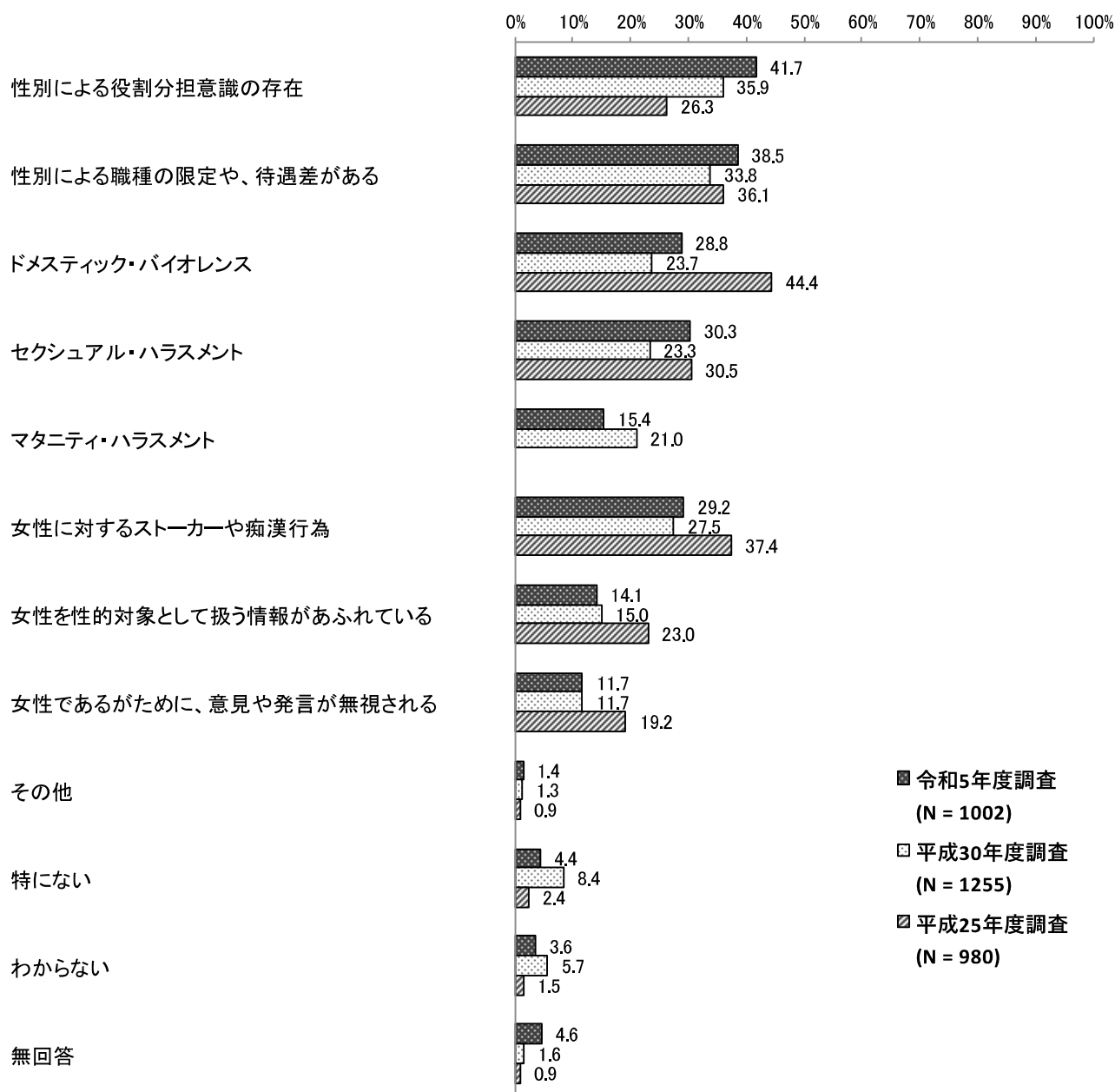
		回答数 (人)	女性 の人権	子ども の人権	高齢者 の人権	障がい のある 人の人権	同和問 題	アイヌ の人々 の人権	外国人 の人権	HIV感 染者、 ハンセ ン病患 者等の 人権	刑を終 えて出 所した 人の人 権	犯罪被 害者等 の人権	インタ ーネッ トによ る人権 侵害	北朝鮮 による 拉致被 害者を めぐる 問題	貧困問 題をめ ぐる人 権問題	性的少 数者を めぐる 人権問 題	災害に 伴う人 権問題	ハラス メント	人身取 引	その他	人権問 題に関 心がない	わから ない	無回 答
全 体		1002	53.1	58.9	44.6	57.0	19.0	11.8	22.9	21.1	13.8	24.3	52.2	23.5	29.0	25.9	24.1	40.6	8.7	1.4	1.4	3.2	0.8
性 別	男性	450	39.8	51.8	34.2	53.3	22.9	14.9	26.2	19.8	14.4	24.4	53.1	24.7	28.7	22.4	22.7	40.9	9.6	1.8	1.8	3.8	0.4
	女性	482	65.8	66.2	53.7	60.2	15.8	8.1	20.3	22.0	13.1	23.9	52.9	23.7	29.5	28.8	26.3	41.5	8.1	1.0	1.0	2.5	1.2
	その他	18	44.4	61.1	38.9	44.4	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1	16.7	44.4	16.7	27.8	33.3	22.2	38.9	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0
年 代	10歳代	54	33.3	50.0	13.0	44.4	18.5	13.0	33.3	16.7	20.4	18.5	46.3	7.4	24.1	25.9	16.7	38.9	11.1	3.7	0.0	3.7	0.0
	20歳代	68	60.3	54.4	26.5	50.0	14.7	8.8	25.0	17.6	8.8	11.8	42.6	16.2	22.1	25.0	19.1	47.1	10.3	1.5	2.9	2.9	0.0
	30歳代	104	48.1	65.4	19.2	51.9	16.3	5.8	25.0	15.4	10.6	23.1	51.0	14.4	30.8	33.7	16.3	45.2	7.7	1.0	2.9	1.9	0.0
	40歳代	150	56.7	58.0	34.0	46.0	16.0	8.0	28.0	22.7	12.7	25.3	62.0	17.3	27.3	30.7	24.0	44.0	8.7	1.3	0.7	4.0	0.0
	50歳代	172	51.7	61.0	41.9	60.5	16.3	10.5	20.9	20.3	10.5	28.5	58.7	22.1	26.2	24.4	26.2	44.8	6.4	1.7	1.7	2.3	0.0
	60歳代	193	58.5	65.3	58.5	61.7	23.3	13.0	20.7	21.2	14.0	25.9	60.1	26.9	32.6	24.9	26.9	43.5	8.8	1.0	1.0	1.6	2.6
	70歳代以上	204	52.5	53.9	67.6	64.2	23.0	17.6	19.1	25.0	18.6	23.5	40.2	39.7	31.9	21.6	29.4	29.9	9.8	1.5	1.0	5.4	1.5

性別でみると、「女性の人権」「子どもの人権」「高齢者の人権」は女性の方が特に高く、「女性の人権」は女性（65.8%）が男性（39.8%）より26.0ポイント高くなっています。

年代別でみると、「高齢者の人権」は60歳代（58.5%）や70歳代以上（67.6%）で5割以上と高くなっています。「北朝鮮による拉致被害者をめぐる問題」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられました。

(2) 女性の人権について

問9 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



女性の人権について特に問題だと思うことは、「性別による役割分担意識の存在」が41.7%と最も高く、次いで「性別による職種の限定や、待遇差がある」が38.5%、「セクシュアル・ハラスメント」が30.3%となっています。

過去の調査と比較すると、「性別による役割分担意識の存在」（41.7%）は平成30年度調査よりも5.8ポイント高く、年々高くなっています。

※調査年度により各選択枝の文言が若干異なっています。また、「マタニティ・ハラスメント」は平成30年度調査からの選択枝です。

【性別・年代別】

(単位: %)

		回答数(人)	性別による役割分担意識の存在	性別による職種の限定や、待遇差がある	ドメスティック・バイオレンス	セクシュアル・ハラスメント	マタニティ・ハラスメント	女性に対するストーカーや痴漢行為	女性を性的対象として扱う情報があふれている	女性であるがために、意見や発言が無視される	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	41.7	38.5	28.8	30.3	15.4	29.2	14.1	11.7	1.4	4.4	3.6	4.6
性別	男性	450	35.8	37.3	30.9	32.4	14.9	29.8	10.4	8.9	2.2	4.2	4.9	4.7
	女性	482	46.9	39.4	28.6	29.5	16.4	29.0	16.4	14.3	0.8	4.4	2.1	4.1
	その他	18	44.4	38.9	22.2	22.2	16.7	16.7	22.2	16.7	0.0	5.6	0.0	0.0
年代	10歳代	54	42.6	42.6	37.0	38.9	22.2	20.4	5.6	22.2	1.9	3.7	1.9	0.0
	20歳代	68	50.0	39.7	29.4	38.2	16.2	23.5	2.9	7.4	2.9	4.4	1.5	2.9
	30歳代	104	50.0	44.2	26.9	27.9	35.6	16.3	7.7	20.2	3.8	2.9	1.9	2.9
	40歳代	150	46.0	35.3	28.0	27.3	17.3	22.0	14.0	12.0	2.7	7.3	4.7	1.3
	50歳代	172	34.3	43.0	32.6	29.7	12.8	33.1	11.6	11.6	1.2	3.5	4.1	4.7
	60歳代	193	36.8	37.8	37.3	38.9	13.0	40.4	19.2	6.2	0.5	2.1	1.6	3.1
	70歳代以上	204	41.7	32.4	20.1	22.5	7.4	31.4	19.1	11.8	0.0	5.9	5.4	9.8

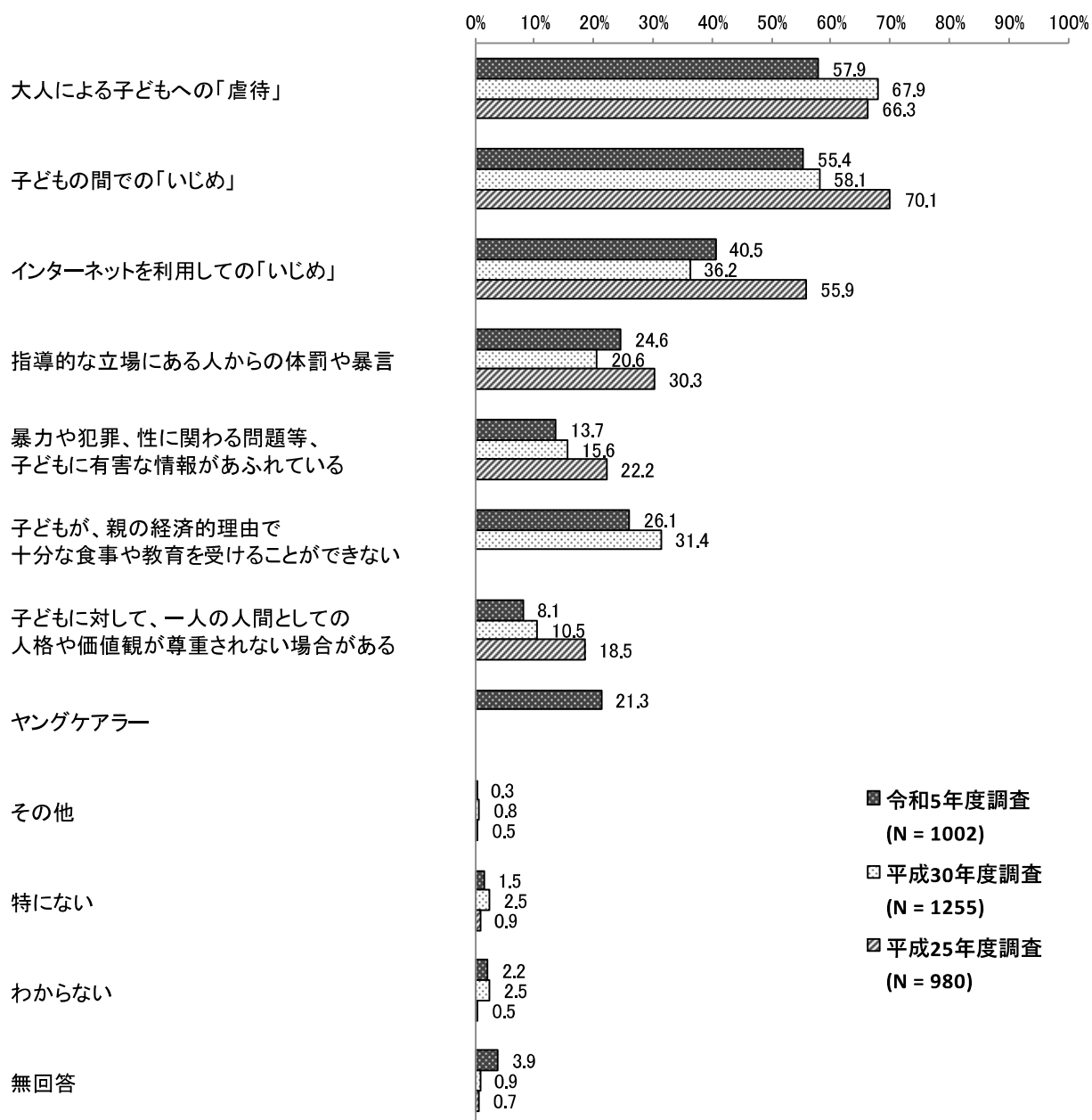
性別でみると、「性別による役割分担意識の存在」は女性（46.9%）が男性（35.8%）よりも11.1ポイント高くなりました。

年代別でみると、「マタニティ・ハラスメント」は概ね年代が低くなると、回答割合が高くなる傾向がみられました。

(3) 子どもの人権について

問 10 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



子どもの人権について特に問題だと思うことは、「大人による子どもへの『虐待』」が57.9%と最も高く、次いで「子どもの間での『いじめ』」が55.4%、「インターネットを利用した『いじめ』」が40.5%となっています。

過去の調査と比較すると、「大人による子どもへの『虐待』」（57.9%）は平成30年度調査（67.9%）よりも10.0ポイント低くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない」は平成30年度調査から、「ヤングケアラー」は令和5年度調査のみの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位: %)

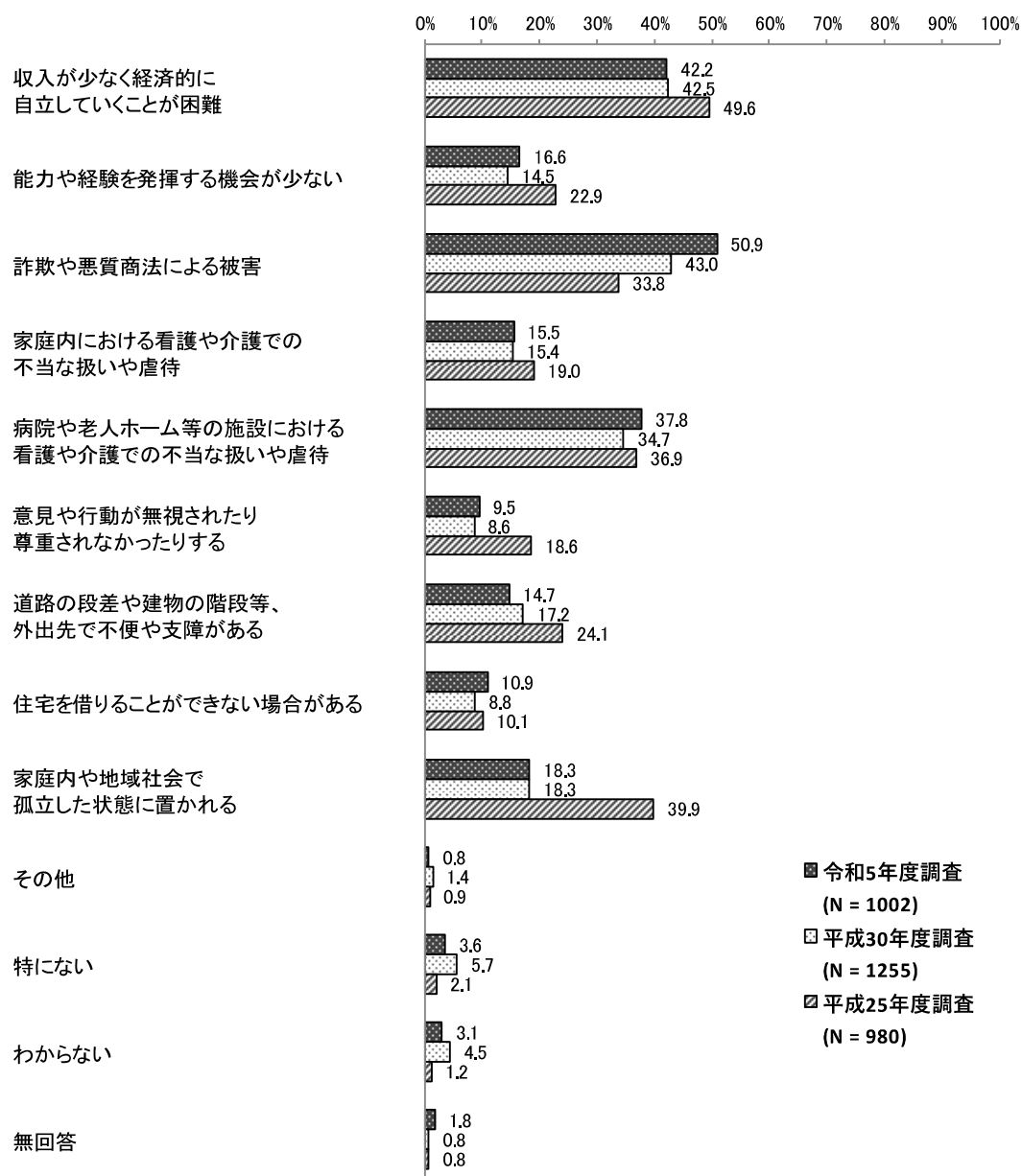
		回答数（人）	大人による子どもへの「虐待」	子どもの間での「いじめ」	インターネットを利用しての「いじめ」	指導的な立場にある人からの体罰や暴言	暴力や犯罪、性に関する情報があふれている子どもに有害な情報がある問題等、	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	子どもが、親の経済的理由で十分な食事や教育を受けることができない	ヤングケアラー	その他	特にない	わからない	無回答
全 体		1002	57.9	55.4	40.5	24.6	13.7	26.1	8.1	21.3	0.3	1.5	2.2	3.9	
性別	男性	450	58.7	56.4	40.0	27.8	11.8	24.4	7.3	15.8	0.0	1.6	3.1	3.8	
	女性	482	58.3	54.6	40.9	22.8	14.9	28.6	8.5	26.1	0.6	1.0	1.2	3.5	
	その他	18	38.9	50.0	27.8	11.1	16.7	22.2	11.1	33.3	0.0	0.0	5.6	16.7	
年代	10歳代	54	51.9	59.3	42.6	18.5	14.8	31.5	14.8	22.2	0.0	0.0	3.7	0.0	
	20歳代	68	61.8	58.8	42.6	22.1	7.4	29.4	7.4	16.2	0.0	1.5	0.0	4.4	
	30歳代	104	61.5	57.7	51.9	24.0	13.5	26.9	13.5	11.5	0.0	1.0	1.0	1.9	
	40歳代	150	48.7	56.7	53.3	26.0	16.7	24.0	13.3	20.7	0.0	0.7	3.3	1.3	
	50歳代	172	55.2	52.9	40.7	25.0	9.9	30.2	5.2	25.6	0.6	1.7	1.7	3.5	
	60歳代	193	67.4	64.8	37.3	24.9	13.5	24.4	5.7	25.4	0.5	0.0	0.5	4.1	
	70歳代以上	204	57.4	44.1	25.5	27.0	16.2	25.5	3.9	21.1	0.5	2.9	4.4	7.4	

性別で見ると、「ヤングケアラー」は女性（26.1%）の方が男性（15.8%）より10.3ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「インターネットを利用した『いじめ』」は、10歳代から50歳代までは、4割以上と高くなっています。

（４）高齢者の人権について

問 11 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



高齢者の人権について特に問題だと思うことは、「詐欺や悪質商法による被害」が50.9%と最も高く、次いで「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」が42.2%、「病院や老人ホーム等の施設における看護や介護での不当な扱いや虐待」が37.8%となっています。

過去の調査と比較すると、「詐欺や悪質商法による被害」（50.9%）は平成30年度調査（43.0%）より7.9ポイント高く、年々高くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

(単位: %)

		回答数(人)	収入が少なく経済的に自立していくことが困難	能力や経験を発揮する機会が少ない	詐欺や悪質商法による被害	家庭内における看顧や介護での不当な扱いや虐待	病院や老人ホーム等の施設における看顧や介護での不当な扱いや虐待	尊重されなかったり、意見や行動が無視されたり	外出先で不便や支障がある	道路の段差や建物の階段等、	住宅を借りることができない場合がある	孤立した状態で置かれる	家庭内や地域社会で	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	42.2	16.6	50.9	15.5	37.8	9.5	14.7	10.9	18.3	0.8	3.6	3.1	1.8		
性別	男性	450	39.8	19.1	51.3	15.6	33.6	9.3	11.6	12.0	14.9	0.4	4.0	3.1	2.0		
	女性	482	44.0	13.7	51.7	14.9	41.9	9.8	17.0	10.4	22.8	1.0	2.9	3.1	1.9		
	その他	18	38.9	33.3	38.9	27.8	22.2	11.1	16.7	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0		
年代	10歳代	54	33.3	18.5	38.9	25.9	27.8	20.4	16.7	0.0	20.4	0.0	0.0	5.6	1.9		
	20歳代	68	32.4	16.2	44.1	19.1	29.4	11.8	7.4	11.8	27.9	0.0	1.5	7.4	1.5		
	30歳代	104	35.6	22.1	56.7	16.3	32.7	13.5	11.5	12.5	25.0	1.0	6.7	1.0	0.0		
	40歳代	150	37.3	16.0	53.3	19.3	36.0	6.0	18.7	15.3	21.3	1.3	3.3	3.3	0.0		
	50歳代	172	51.2	16.3	49.4	13.4	40.7	4.7	15.7	11.0	22.1	0.6	2.9	4.1	0.6		
	60歳代	193	45.1	19.7	53.9	16.6	45.1	10.4	10.9	9.8	15.5	0.5	1.6	1.6	2.6		
	70歳代以上	204	42.6	10.8	52.5	9.3	36.8	10.3	16.7	11.8	10.8	1.0	5.4	2.9	4.9		

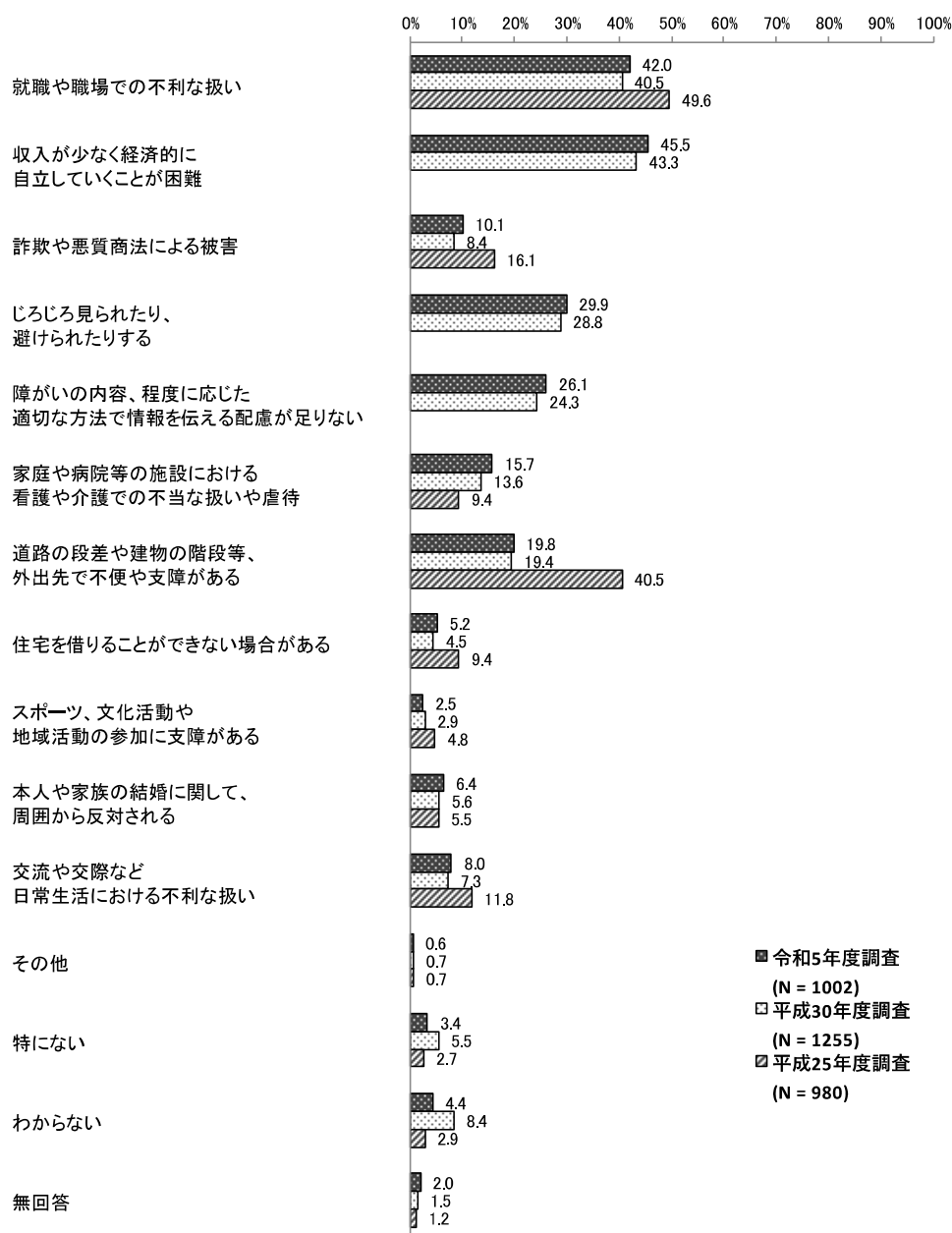
性別でみると、「能力や経験を発揮する機会が少ない」は男性（19.1%）が女性（13.7%）より5.4ポイント高く、「病院や老人ホーム等の施設における看顧や介護での不当な扱いや虐待」「家庭内や地域社会で孤立した状態に置かれる」「道路の段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある」は女性が男性よりも5ポイント以上高くなっています。

年代別でみると、「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」は50歳代から70歳代以上にかけて4割以上と高くなっています。

（５）障がいのある人の人権について

問 12 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。

（当てはまる番号に○をつけてください。３つ以内）



障がいのある人の人権について特に問題だと思うことは、「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」が45.5%と最も高く、次いで「就職や職場での不利な扱い」が42.0%、「じろじろ見られたり、避けられたりする」が29.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな差はみられませんでした。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「収入が少なく経済的に自立していくことが困難」「じろじろ見られたり、避けられたりする」「障がいの内容、程度に応じた適切な方法で情報を伝える配慮が足りない」は平成30年度調査からの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位: %)

		回答数(人)	就職や職場での不利な扱い	収入が少なく経済的に難	詐欺や悪質商法による被害	避けられったりする	じろじろ見られたり、適切な方法で情報を伝える配慮が足りない	障がいの内容、程度に応じた適切な方法で情報を伝える配慮が足りない	家庭や病院等の施設における看護や介護での不当な扱いや虐待	外出先で不便や支障がある	道路の段差や建物の階段等、住宅を借りることができない場合がある	地域活動の参加に支障がある	スポーツ、文化活動や	本人や家族の結婚に関して、周囲から反対される	日常生活における不利な扱い	交流や交際など	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	42.0	45.5	10.1	29.9	26.1	15.7	19.8	5.2	2.5	6.4	8.0	0.6	3.4	4.4	2.0			
性別	男性	450	42.7	45.8	11.3	30.0	23.3	13.8	16.2	4.9	4.0	6.7	8.9	0.7	4.7	3.3	2.0			
	女性	482	41.5	45.6	9.3	30.1	29.0	16.8	22.0	6.0	1.2	5.4	7.5	0.6	2.1	5.6	1.7			
	その他	18	38.9	61.1	5.6	27.8	22.2	22.2	33.3	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0			
年代	10歳代	54	50.0	25.9	11.1	44.4	16.7	16.7	13.0	5.6	5.6	9.3	14.8	1.9	0.0	3.7	1.9			
	20歳代	68	42.6	38.2	5.9	47.1	23.5	14.7	5.9	1.5	4.4	11.8	7.4	0.0	5.9	2.9	1.5			
	30歳代	104	47.1	48.1	14.4	31.7	27.9	12.5	19.2	4.8	5.8	10.6	6.7	1.0	1.0	1.0	1.0			
	40歳代	150	41.3	50.7	10.0	32.0	26.0	18.7	20.0	7.3	1.3	3.3	9.3	0.0	2.7	3.3	0.7			
	50歳代	172	40.1	47.7	8.1	22.7	27.9	14.5	21.5	5.8	0.0	5.8	10.5	1.2	3.5	5.2	1.7			
	60歳代	193	45.6	53.4	10.4	29.0	27.5	16.1	23.3	6.7	3.1	3.1	5.2	0.5	2.6	4.7	1.6			
	70歳代以上	204	36.3	41.2	10.8	25.5	27.0	13.7	19.6	4.4	2.5	4.9	7.4	0.5	5.4	6.9	3.4			

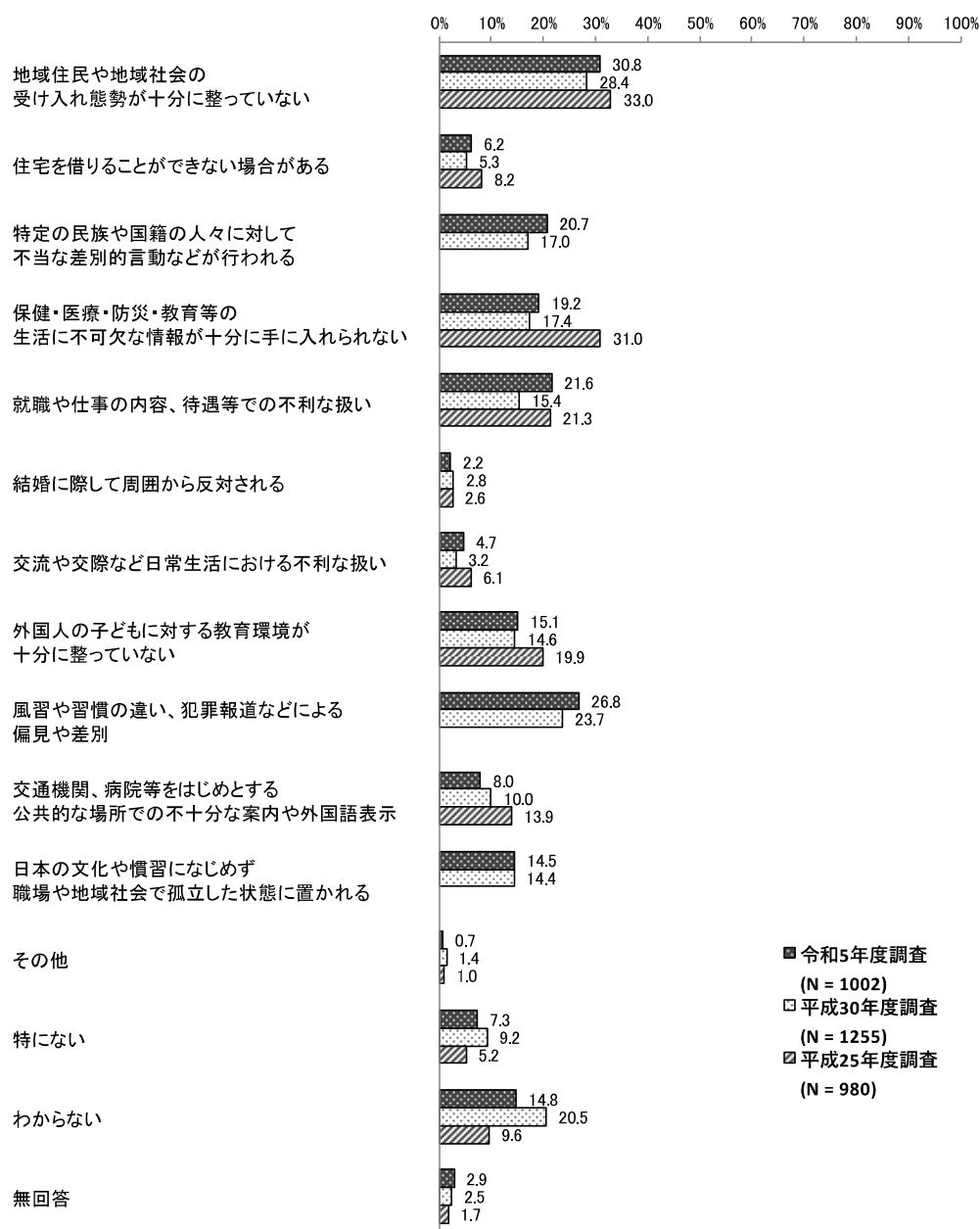
性別でみると、「障がいの内容、程度に応じた適切な方法で情報を伝える配慮が足りない」は女性(29.0%)が男性(23.3%)よりも5.7ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「じろじろ見られたり、避けられたりする」は10歳代、20歳代で4割以上と高くなっています。

(6) 外国人の人権について

問 13 次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。

(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



外国人の人権について特に問題だと思うことは、「地域住民や地域社会の受け入れ態勢が十分に整っていない」が30.8%と最も高く、次いで「風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別」が26.8%、「就職や仕事の内容、待遇等での不利な扱い」が21.6%となっています。

過去の調査と比較すると、「就職や仕事の内容、待遇等での不利な扱い」（21.6%）は平成30年度調査（15.4%）より6.2ポイント高くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動などが行われる」「風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別」「日本の文化や慣習になじめず職場や地域社会で孤立した状態に置かれる」は平成30年度調査からの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位: %)

		回答数(人)	地域住民や地域社会の受け入れ態勢が十分に整っていない	住宅を借りることができない場合がある	特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動などが行われる	保健・医療・防災・教育等の生活に不可欠な情報が十分に手に入れない	就職や仕事の内容、待遇等での不利な扱い	結婚に際して周囲から反対される	交流や交際など日常生活における不利な扱い	外国人の子どもに対する教育環境が十分に整っていない	偏見や差別	風習や習慣の違い、犯罪報道などによる	公共交通機関、病院等をはじめとする公共的な場所での不十分な案内や外国語表示	職場や地域社会で孤立した状態に置かれる	日本の文化や慣習になじめず	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	30.8	6.2	20.7	19.2	21.6	2.2	4.7	15.1	26.8	8.0	14.5	0.7	7.3	14.8	2.9		
性別	男性	450	33.3	7.1	22.4	15.3	21.3	3.1	5.6	17.8	26.9	8.4	13.8	1.1	9.1	9.8	3.6		
	女性	482	30.5	5.6	18.5	22.6	22.0	1.5	4.1	12.7	26.1	7.9	15.4	0.2	5.2	18.9	2.1		
	その他	18	22.2	0.0	27.8	22.2	16.7	0.0	0.0	16.7	38.9	5.6	11.1	0.0	0.0	27.8	5.6		
年代	10歳代	54	22.2	13.0	25.9	25.9	33.3	9.3	13.0	11.1	31.5	7.4	13.0	0.0	1.9	7.4	0.0		
	20歳代	68	29.4	5.9	26.5	23.5	19.1	1.5	8.8	14.7	23.5	8.8	14.7	0.0	8.8	8.8	0.0		
	30歳代	104	30.8	10.6	18.3	24.0	26.0	0.0	2.9	19.2	32.7	4.8	17.3	1.0	9.6	4.8	1.9		
	40歳代	150	30.0	6.7	24.0	18.0	20.0	4.7	6.7	22.7	29.3	8.0	11.3	0.7	6.0	12.0	2.0		
	50歳代	172	39.0	7.0	23.3	15.7	18.6	0.6	1.7	16.3	26.2	9.3	15.7	1.7	4.1	14.0	1.2		
	60歳代	193	35.8	3.1	17.1	22.3	23.3	2.1	5.2	15.0	27.5	10.9	17.6	0.5	7.8	15.0	2.1		
	70歳代以上	204	27.0	4.4	16.2	14.2	19.1	1.5	2.9	8.3	20.6	6.4	11.8	0.0	8.8	26.0	7.8		

性別でみると、「外国人の子どもに対する教育環境が十分に整っていない」は男性（17.8%）の方が女性（12.7%）より5.1ポイント高くなっています。「保健・医療・防災・教育等の生活に不可欠な情報が十分に手に入れない」は女性（22.6%）の方が男性（15.3%）より7.3ポイント高くなっています。「特定の民族や国籍の人々に対して不当な差別的言動などが行われる」は男性（22.4%）の方が女性（18.5%）より3.9ポイント高くなっています。

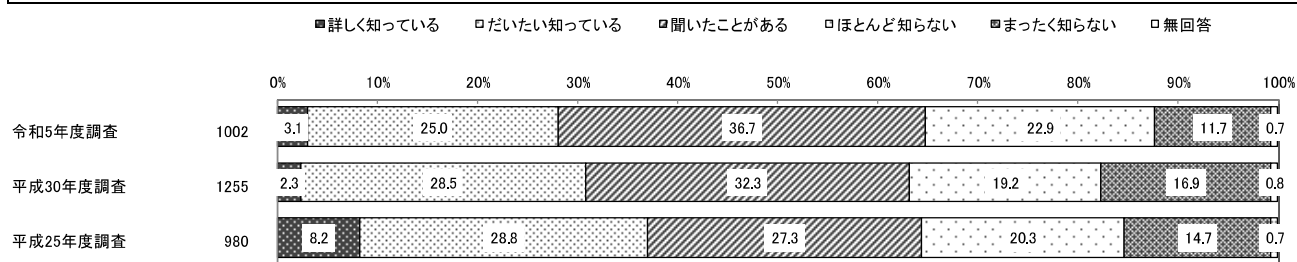
年代別でみると、「風習や習慣の違い、犯罪報道などによる偏見や差別」は10歳代（31.5%）が高く、70歳代以上（20.6%）が低くなっています。

(7) 同和問題について

問 14 あなたは部落差別（同和問題）をご存知ですか。
（当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。）

～部落差別（同和問題）とは～

同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々が長い年月の間、経済的・社会的・文化的に低い状態に置かれることを強いられ、今なお、日常生活の中で様々な差別を受けている日本固有の人権問題です。



同和問題について、「聞いたことがある」が36.7%と最も高く、次いで「だいたい知っている」が25.0%、「ほとんど知らない」が22.9%となっています。

「詳しく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は28.1%となりました。「ほとんど知らない」と「まったく知らない」を合わせた『知らない』は34.6%となり、『知らない』が『知っている』を6.5ポイント上回りました。

過去の調査と比較すると、「まったく知らない」（11.7%）は平成30年度調査（16.9%）より5.2ポイント低くなりました。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

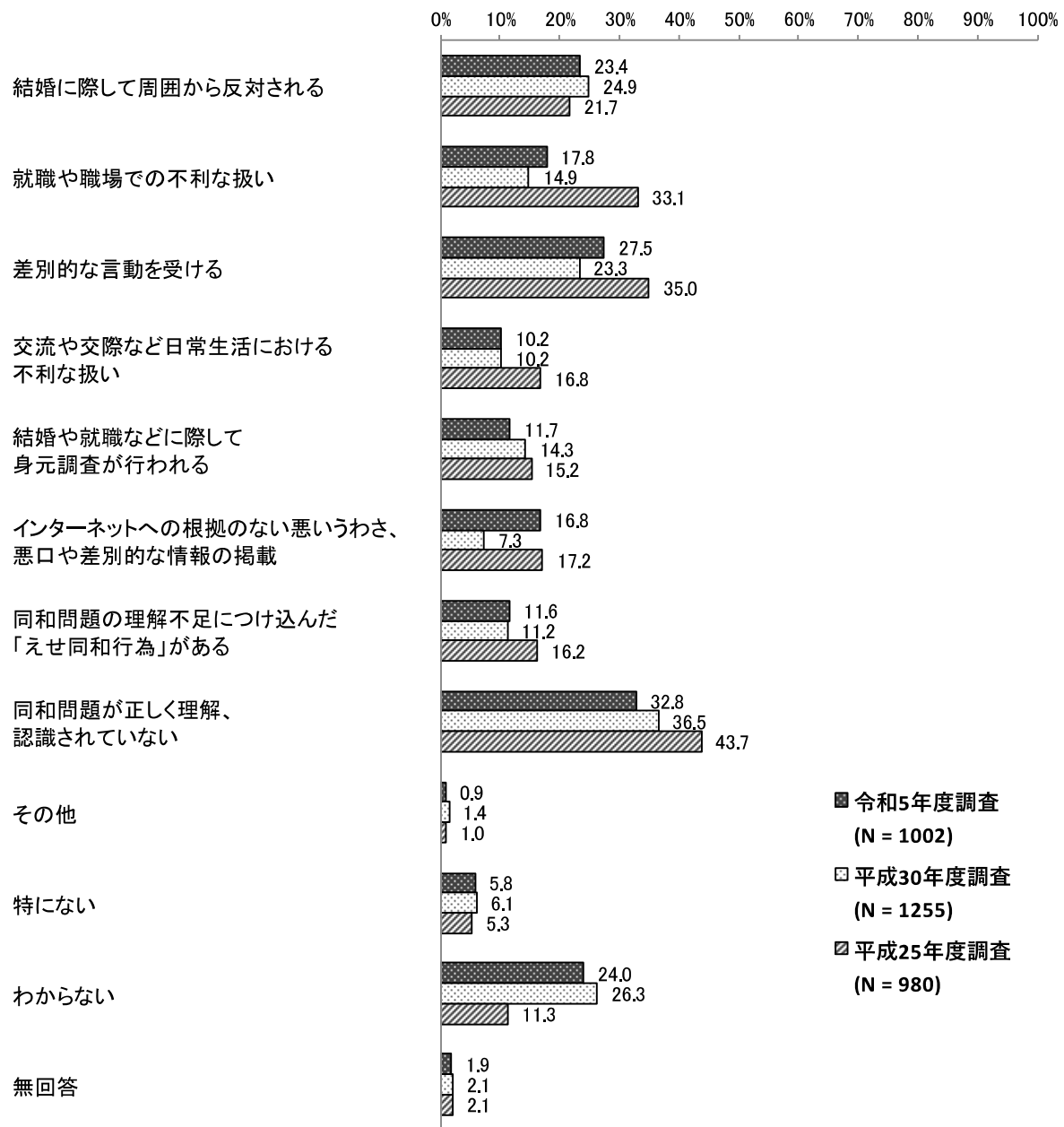
(単位: %)

		回答数 (人)	詳しく 知っている	だいたい 知っている	聞いた ことがある	ほとんど 知らない	まったく 知らない	無 回答
全 体		1002	3.1	25.0	36.7	22.9	11.7	0.7
性 別	男性	450	4.9	30.9	31.6	20.9	10.7	1.1
	女性	482	1.2	19.5	40.9	25.9	12.2	0.2
	その他	18	11.1	27.8	33.3	11.1	16.7	0.0
年 代	10歳代	54	7.4	18.5	31.5	25.9	16.7	0.0
	20歳代	68	0.0	11.8	44.1	23.5	20.6	0.0
	30歳代	104	3.8	21.2	27.9	31.7	14.4	1.0
	40歳代	150	1.3	24.0	33.3	29.3	12.0	0.0
	50歳代	172	2.3	23.8	40.1	20.9	12.8	0.0
	60歳代	193	4.1	32.1	42.0	16.6	3.6	1.6
	70歳代以上	204	3.9	27.9	33.3	22.5	11.3	1.0

性別で見ると、『知っている』は、男性（35.8%）の方が女性（20.7%）より15.1ポイント高くなっています。『知らない』は女性（38.1%）の方が男性（31.6%）より6.5ポイント高くなっています。

年代別で見ると、『知っている』は60歳代（36.2%）、70歳代以上（31.8%）で3割以上と高く、概ね年代が上がるにつれて割合も高まる傾向がみられました。

問 15 同和問題に関することで、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



同和問題について特に問題だと思うことは、「同和問題が正しく理解、認識されていない」が32.8%と最も高く、次いで「差別的な言動を受ける」が27.5%、「わからない」が24.0%となっています。

過去の調査と比較すると、「インターネットへの根拠のない悪いうわさ、悪口や差別的な情報の掲載」(16.8%)は平成30年度調査(7.3%)から9.5ポイント高くなりました。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

(単位: %)

		回答数（人）	結婚に際して周囲から反対される	就職や職場での不利な扱い	差別的な言動を受ける	交流や交際など日常生活における不利な扱い	結婚や就職などに際して身元調査が行われる	悪口や差別的な情報の掲載	インターネットへの根拠のない悪い噂、	「えせ同和行為」がある	同和問題の理解不足につけ込んだ	同和問題が正しく理解、認識されていない	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	23.4	17.8	27.5	10.2	11.7	16.8	11.6	32.8	0.9	5.8	24.0	1.9		
性別	男性	450	24.9	18.9	28.2	11.8	11.6	16.9	12.7	29.8	1.1	7.1	19.8	2.0		
	女性	482	22.4	16.4	28.2	9.3	11.8	17.2	10.4	35.7	0.4	4.4	27.6	1.7		
	その他	18	5.6	33.3	27.8	11.1	11.1	11.1	5.6	27.8	5.6	0.0	33.3	0.0		
年代	10歳代	54	11.1	25.9	53.7	7.4	14.8	20.4	14.8	13.0	0.0	1.9	25.9	0.0		
	20歳代	68	17.6	22.1	29.4	13.2	8.8	26.5	17.6	17.6	2.9	4.4	23.5	0.0		
	30歳代	104	26.9	26.0	38.5	10.6	11.5	25.0	13.5	33.7	1.0	5.8	16.3	0.0		
	40歳代	150	22.7	16.0	36.0	9.3	7.3	20.7	9.3	30.0	0.7	4.0	29.3	0.0		
	50歳代	172	23.8	18.0	25.0	8.7	12.8	14.0	11.0	33.7	1.2	4.1	26.2	1.2		
	60歳代	193	29.5	18.1	24.9	11.4	10.9	13.0	13.0	46.6	0.0	6.7	16.1	2.6		
	70歳代以上	204	20.6	11.3	15.7	12.3	15.2	11.8	7.8	30.9	1.0	8.3	29.4	4.9		

性別でみると、「同和問題が正しく理解、認識されていない」は女性（35.7%）の方が男性（29.8%）より5.9ポイント高くなっています。「わからない」は女性（27.6%）の方が男性（19.8%）より7.8ポイント高くなっています。

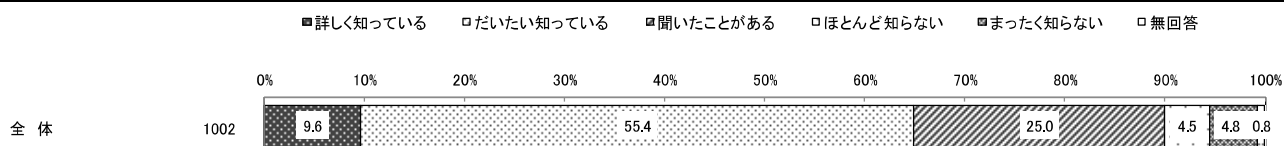
年代別でみると、「差別的な言動を受ける」は10歳代（53.7%）が高くなっています。「結婚に際して周囲から反対される」は10歳代（11.1%）、20歳代（17.6%）で1割台と低く、30歳代から2割台と高くなっています。「就職や職場での不利な扱い」は、10歳代（25.9%）、20歳代（22.1%）、30歳代（26.0%）が2割台と相対的に高くなっています。

（８）性的少数者の人権について

問 16 あなたは「L G B T」という言葉をご存知ですか。

（当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。）

- L→レズビアン : 自認する性が女性で、好きになる対象が女性の人
 G→ゲイ : 自認する性が男性で、好きになる対象が男性の人
 B→バイセクシュアル : 好きになる対象が女性・男性両方の人
 T→トランスジェンダー : 出生時に割り当てられた性別（戸籍の性）と自認する性などが一致しない人
 「L G B T」は、これらの頭文字をとったもの



L G B Tについて、「だいたい知っている」が55.4%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が25.0%、「詳しく知っている」が9.6%となっています。

「詳しく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は65.0%となりました。「ほとんど知らない」と「まったく知らない」を合わせた『知らない』は9.3%となり、『知っている』が『知らない』を55.7ポイント上回りました。

【性別・年代別】

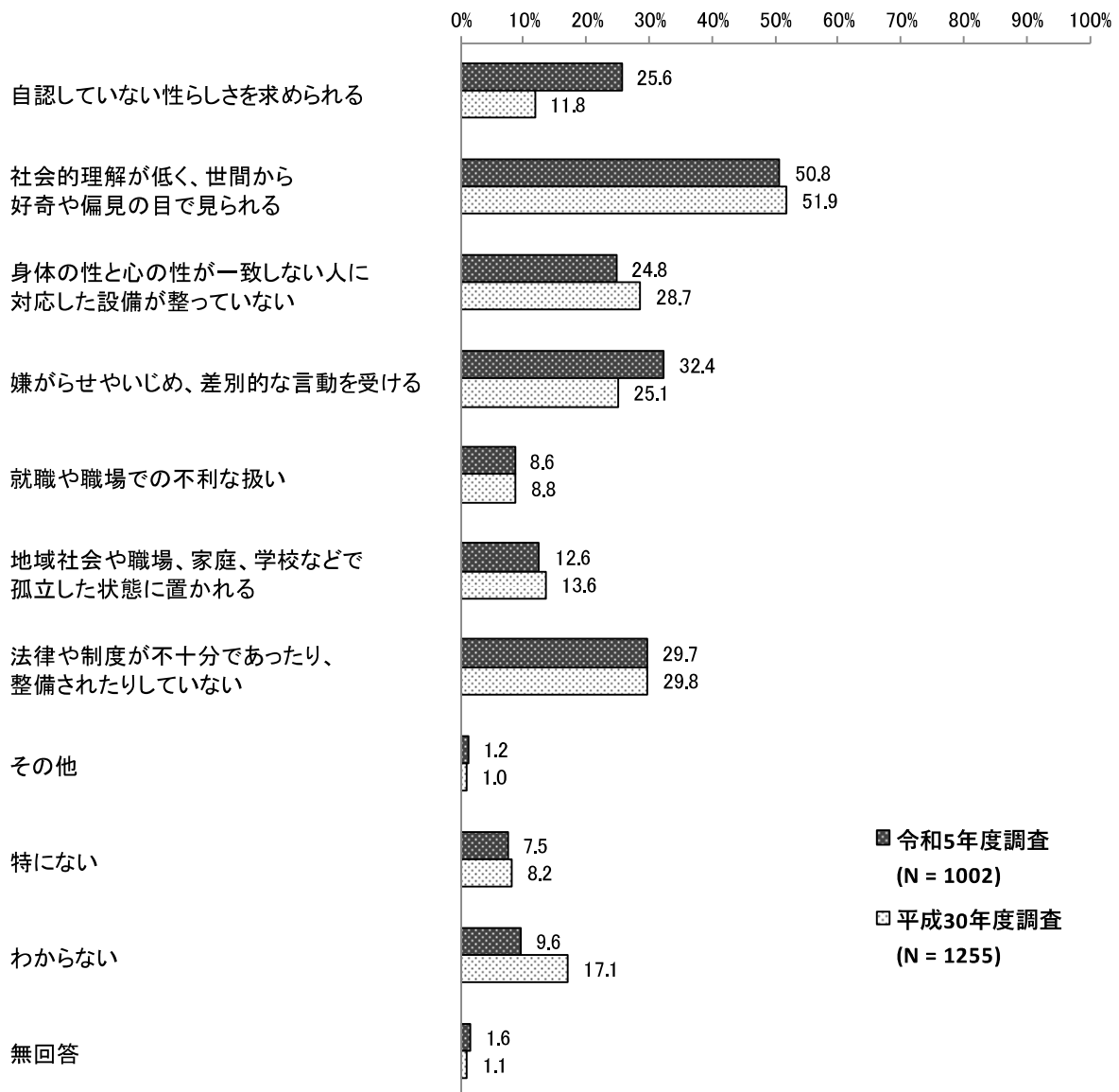
（単位：％）

		回答数 (人)	詳しく 知っ てい る	だ い た い 知 っ て い る	聞 い た こ と が あ る	ほ と ん ど 知 ら な い	ま っ た く 知 ら な い	無 回 答
全 体		1002	9.6	55.4	25.0	4.5	4.8	0.8
性 別	男性	450	10.2	55.3	24.4	3.8	5.3	0.9
	女性	482	8.7	55.8	25.9	5.0	3.9	0.6
	その他	18	27.8	44.4	22.2	0.0	5.6	0.0
年 代	10歳代	54	25.9	59.3	9.3	0.0	5.6	0.0
	20歳代	68	25.0	55.9	16.2	0.0	1.5	1.5
	30歳代	104	18.3	59.6	17.3	1.9	2.9	0.0
	40歳代	150	10.7	61.3	19.3	4.0	4.0	0.7
	50歳代	172	8.7	56.4	27.9	2.9	2.9	1.2
	60歳代	193	5.7	58.5	29.0	3.6	3.1	0.0
	70歳代以上	204	0.5	43.6	34.8	9.8	9.8	1.5

性別でみると、『知っている』は男性（65.5%）、女性（64.5%）で大きな差はみられませんでした。

年代別でみると、『知っている』は年代が上がるにつれて低くなっています。

問 17 性的少数者（問 16 参照）に関することで、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。
（当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）



性的少数者について特に問題だと思うことは、「社会的理解が低く、世間から好奇や偏見の目で見られる」が50.8%と最も高く、次いで「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」が32.4%、「法律や制度が不十分であったり、整備されたりしていない」が29.7%となっています。

過去の調査と比較すると、「自認していない性らしさを求められる」（25.6%）は平成30年度調査（11.8%）から13.8ポイント、「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」（32.4%）は平成30年度調査（25.1%）から7.3ポイント高くなっています。一方、「わからない」（9.6%）は平成30年度調査（17.1%）から7.5ポイント低くなっています。

【性別・年代別】

(単位: %)

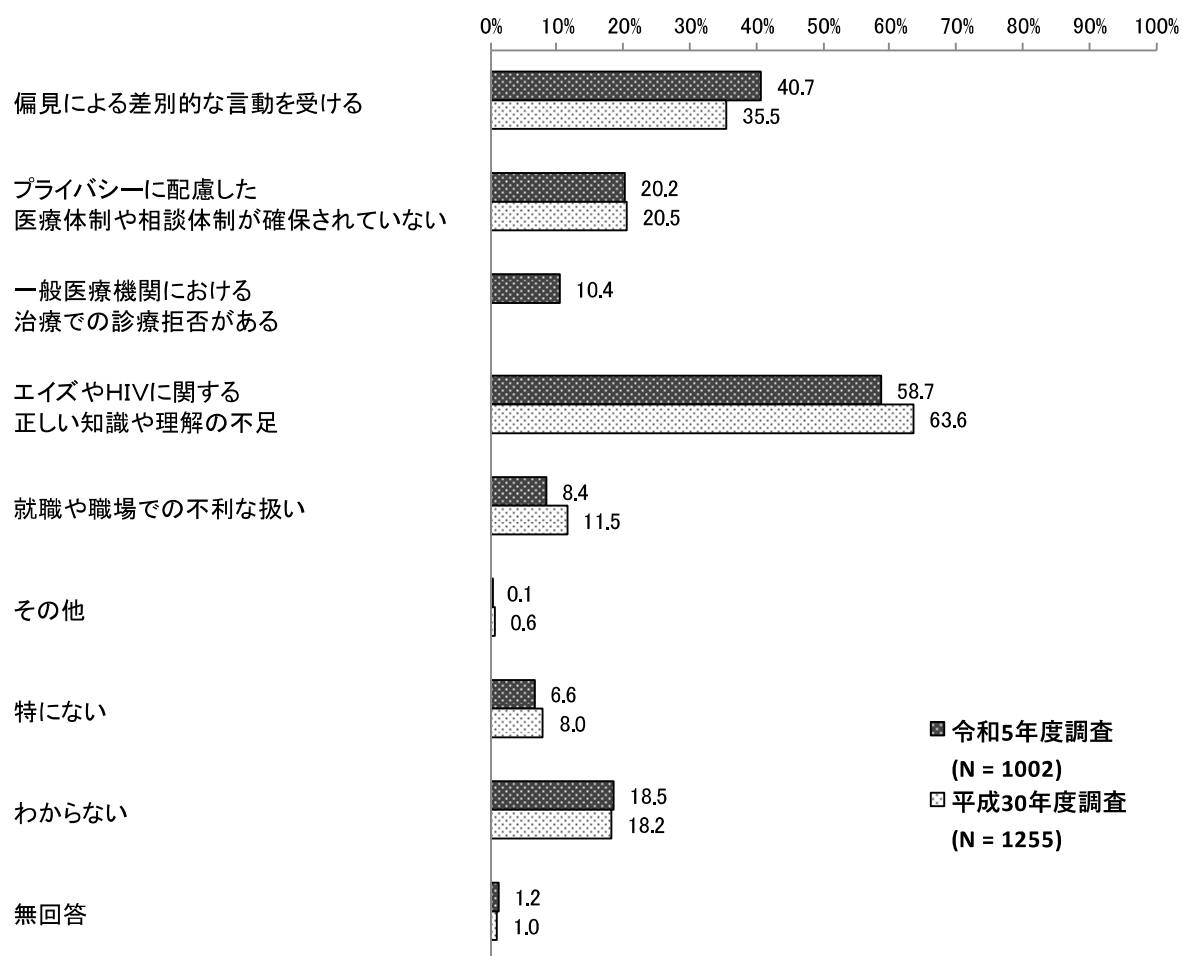
		回答数(人)	自認していない性らしさを求められる	社会的理解が低く、世間から好奇や偏見の目で見られる	身体性と心の性が一致しない人に対応した設備が整っていない	嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける	就職や職場での不利な扱い	孤立した状態に置かれる	地域社会や職場、家庭、学校などで整備されたりしていない	法律や制度が不十分であったり、整備されたりしていない	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	25.6	50.8	24.8	32.4	8.6	12.6	29.7	1.2	7.5	9.6	1.6	
性別	男性	450	22.9	46.0	20.2	30.9	9.8	14.7	26.7	1.1	10.4	10.2	1.6	
	女性	482	28.4	54.8	29.0	34.0	7.5	10.8	32.0	1.2	4.6	9.5	1.2	
	その他	18	27.8	66.7	27.8	27.8	11.1	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	5.6	
年代	10歳代	54	27.8	40.7	18.5	46.3	16.7	16.7	25.9	0.0	3.7	3.7	0.0	
	20歳代	68	33.8	57.4	20.6	33.8	11.8	10.3	27.9	2.9	11.8	2.9	0.0	
	30歳代	104	28.8	49.0	19.2	46.2	9.6	14.4	31.7	4.8	6.7	3.8	0.0	
	40歳代	150	28.7	50.0	26.0	42.0	8.7	15.3	32.0	2.0	6.0	6.0	0.7	
	50歳代	172	25.0	52.3	28.5	28.5	7.0	11.6	36.0	0.6	5.2	9.3	1.2	
	60歳代	193	28.0	56.0	29.5	29.5	7.8	14.5	30.6	0.0	8.8	7.8	1.0	
	70歳代以上	204	18.1	46.1	22.1	20.1	6.9	9.3	21.1	0.0	8.3	21.6	3.9	

性別でみると、「社会的理解が低く、世間から好奇や偏見の目で見られる」は女性（54.8%）の方が男性（46.0%）より8.8ポイント高くなりました。「身体性と心の性が一致しない人に対応した設備が整っていない」は女性（29.0%）の方が男性（20.2%）より8.8ポイント高くなりました。「法律や制度が不十分であったり、整備されたりしていない」は女性（32.0%）の方が男性（26.7%）より5.3ポイント高くなりました。「特にな」は男性（10.4%）の方が女性（4.6%）より5.8ポイント高くなりました。

年代別でみると、「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」「就職や職場での不利な扱い」は、概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなりました。

(9) その他の人権について

問 18 エイズ患者・HIV感染者の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



エイズ患者・HIV感染者の人権について問題だと思うことは、「エイズやHIVに関する正しい知識や理解の不足」が58.7%と最も高く、次いで「偏見による差別的な言動を受ける」が40.7%、「プライバシーに配慮した医療体制や相談体制が確保されていない」が20.2%となっています。

過去の調査と比較すると、「偏見による差別的な言動を受ける」(40.7%)は平成30年度調査(35.5%)から5.2ポイント高くなりました。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「一般医療機関における治療での診療拒否がある」は令和5年度調査のみの選択肢です。

【性別・年代別】

(単位: %)

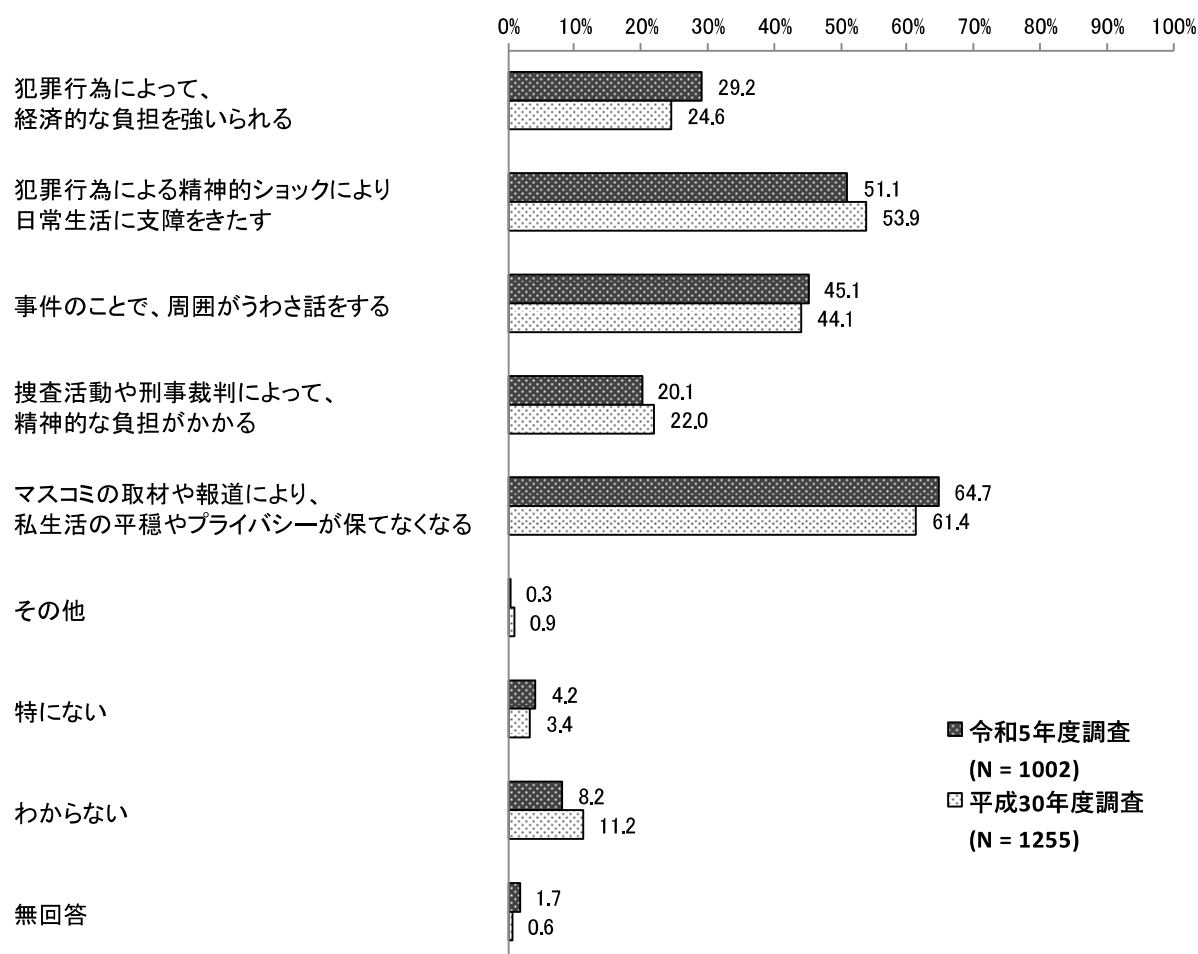
		回答数(人)	偏見による差別的な言動を受ける	医療体制や相談体制が確保されていない	治療での診療拒否がある	一般医療機関における正しい知識や理解の不足	エイズやHIVに関する	就職や職場での不利な扱い	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	40.7	20.2	10.4	58.7	8.4	0.1	6.6	18.5	1.2	
性別	男性	450	37.6	20.7	9.8	56.4	8.0	0.2	9.3	17.6	1.1	
	女性	482	43.2	18.3	11.2	60.8	8.7	0.0	4.1	19.1	1.2	
	その他	18	55.6	38.9	0.0	72.2	16.7	0.0	0.0	5.6	0.0	
年代	10歳代	54	53.7	24.1	14.8	53.7	11.1	0.0	5.6	9.3	0.0	
	20歳代	68	51.5	19.1	8.8	61.8	14.7	0.0	5.9	10.3	2.9	
	30歳代	104	52.9	22.1	11.5	67.3	10.6	1.0	6.7	12.5	0.0	
	40歳代	150	45.3	19.3	14.0	61.3	9.3	0.0	3.3	13.3	1.3	
	50歳代	172	39.5	19.2	12.8	57.6	7.0	0.0	5.8	19.2	1.7	
	60歳代	193	39.9	19.2	9.8	63.7	7.3	0.0	7.3	16.6	0.0	
	70歳代以上	204	25.0	18.6	4.9	49.5	6.9	0.0	9.3	30.4	2.0	

性別でみると、「偏見による差別的な言動を受ける」は女性（43.2%）の方が男性（37.6%）より5.6ポイント高くなりました。「特にな」は男性（9.3%）の方が女性（4.1%）より5.2ポイント高くなりました。

年代別でみると、「偏見による差別的な言動を受ける」は、概ね年代が下がるにつれて回答割合が高くなる傾向がみられます。

問 19 犯罪被害者等（犯罪被害者とその家族、遺族）の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何か。

（当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）



犯罪被害者等の人権で問題だと思うことは、「マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる」が64.7%と最も高く、次いで「犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」が51.1%、「事件のことで、周囲がうわさ話をする」が45.1%となっています。

過去の調査と比較すると、「犯罪行為によって、経済的な負担を強いられる」（29.2%）は、平成30年度調査（24.6%）より4.6ポイント高くなりました。

【性別・年代別】

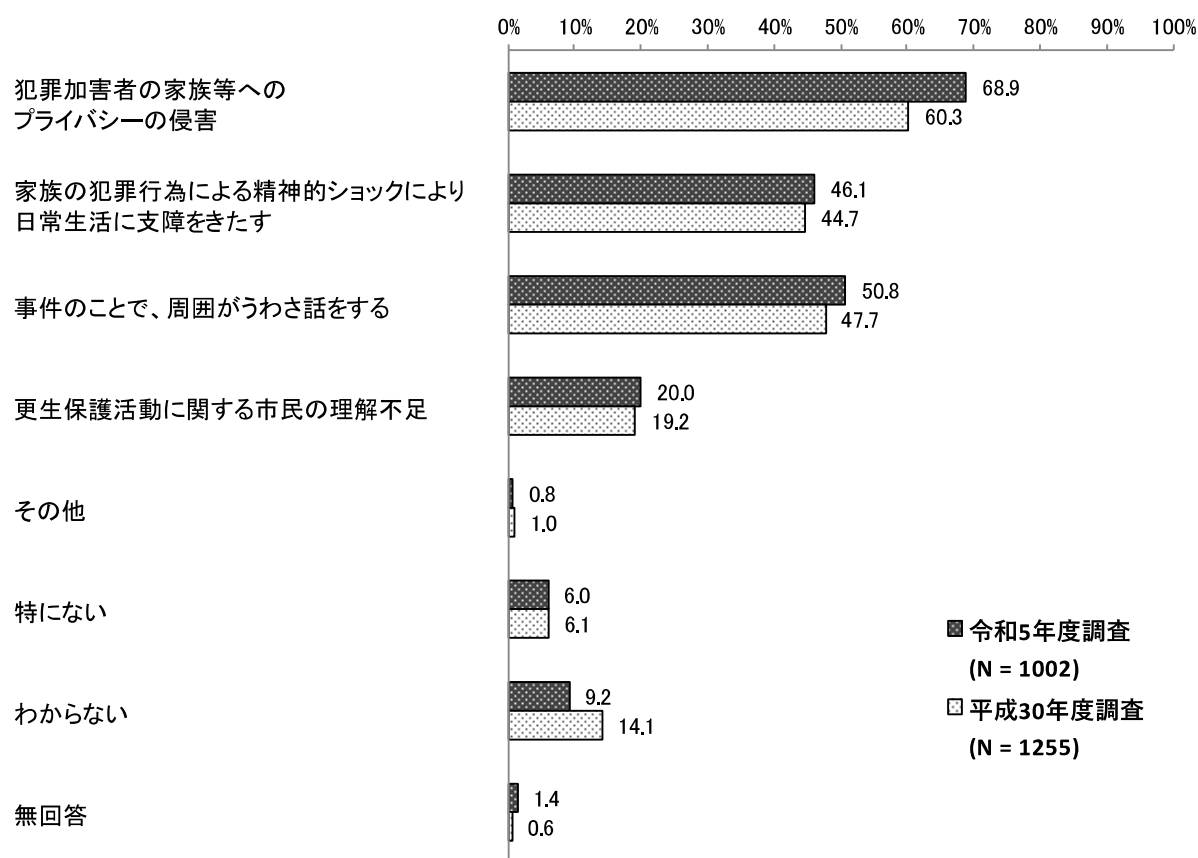
(単位: %)

		回答数(人)	経済的な負担を強いられる	犯罪行為によって、日常生活に支障をきたす	犯罪行為による精神的ショックにより	事件のことで、周囲がうわさ話をする	捜査活動や刑事裁判によって、精神的な負担がかかる	私生活の平穏やプライバシーにより、マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	29.2	51.1	45.1	20.1	64.7	0.3	4.2	8.2	1.7	
性別	男性	450	33.6	44.4	42.4	18.9	59.1	0.4	5.3	9.1	2.2	
	女性	482	26.1	58.5	46.7	21.4	68.7	0.2	3.3	7.5	0.8	
	その他	18	27.8	33.3	66.7	5.6	66.7	0.0	0.0	11.1	0.0	
年代	10歳代	54	27.8	44.4	48.1	25.9	59.3	0.0	3.7	3.7	0.0	
	20歳代	68	35.3	51.5	52.9	16.2	63.2	0.0	4.4	2.9	0.0	
	30歳代	104	32.7	55.8	46.2	21.2	72.1	0.0	4.8	4.8	1.0	
	40歳代	150	30.7	61.3	50.7	23.3	62.7	0.7	4.7	4.0	1.3	
	50歳代	172	29.7	51.7	46.5	20.3	69.2	0.0	1.7	8.7	2.3	
	60歳代	193	33.7	54.4	41.5	21.8	67.4	0.5	3.1	7.8	1.0	
	70歳代以上	204	22.5	40.7	38.2	14.7	55.4	0.5	6.9	16.7	2.5	

性別でみると、「犯罪行為によって、経済的な負担を強いられる」は男性（33.6%）の方が女性（26.1%）より7.5ポイント高くなりました。「犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」は女性（58.5%）の方が男性（44.4%）より14.1ポイント高くなりました。「マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる」は女性（68.7%）の方が男性（59.1%）より9.6ポイント高くなりました。

年代別でみると、「マスコミの取材や報道により、私生活の平穏やプライバシーが保てなくなる」は30歳代（72.1%）が高くなっています。「犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」は40歳代（61.3%）が高くなっています。

問 20 犯罪加害者の家族等（家族、遺族）の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。
（当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内）



犯罪加害者家族等の人権で問題だと思うことは、「犯罪加害者の家族等へのプライバシーの侵害」が68.9%と最も高く、次いで「事件のことで、周囲がうわさ話をする」が50.8%、「家族の犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」が46.1%となっています。

過去の調査と比較すると、「犯罪加害者の家族等へのプライバシーの侵害」（68.9%）は、平成30年度調査（60.3%）より8.6ポイント高くなりました。

【性別・年代別】

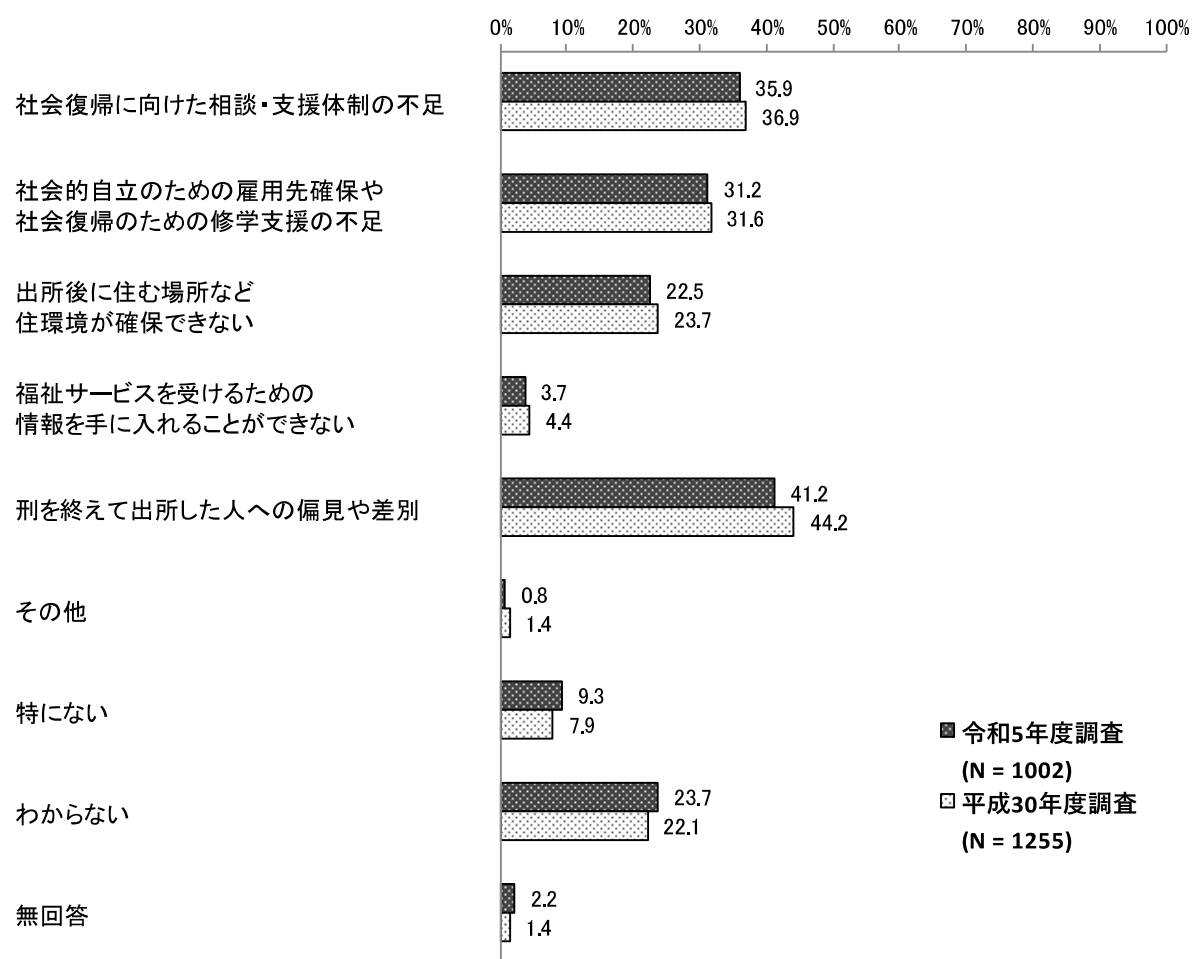
(単位: %)

		回答数(人)	犯罪被害者の家族等へのプライバシーの侵害	家族の犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす	事件のことで、周囲がうわさ話をする	更生保護活動に関する市民の理解不足	その他	特 に ない	わ か ら ない	無 回 答
全 体		1002	68.9	46.1	50.8	20.0	0.8	6.0	9.2	1.4
性 別	男性	450	63.3	39.3	50.9	18.4	1.8	8.4	9.8	1.8
	女性	482	74.5	51.9	51.2	20.1	0.0	3.9	8.3	1.0
	その他	18	66.7	66.7	33.3	27.8	0.0	0.0	11.1	0.0
年 代	10歳代	54	72.2	42.6	46.3	18.5	3.7	5.6	3.7	0.0
	20歳代	68	79.4	41.2	58.8	14.7	0.0	4.4	8.8	0.0
	30歳代	104	73.1	48.1	56.7	14.4	2.9	6.7	5.8	1.0
	40歳代	150	78.0	53.3	56.7	14.0	0.0	4.0	3.3	2.0
	50歳代	172	72.7	52.3	51.2	16.3	0.0	6.4	8.7	1.2
	60歳代	193	66.3	49.2	49.2	28.0	1.0	4.1	9.3	0.5
	70歳代以上	204	55.9	34.8	43.1	23.0	0.5	9.3	16.2	2.9

性別でみると、「家族の犯罪行為による精神的ショックにより日常生活に支障をきたす」は女性(51.9%)の方が男性(39.3%)より12.6ポイント高くなりました。「犯罪被害者の家族等へのプライバシーの侵害」は女性(74.5%)の方が男性(63.3%)より11.2ポイント高くなりました。

年代別でみると、「犯罪被害者の家族等へのプライバシーの侵害」は、10歳代から50歳代にかけて7割台と高くなっており、「更生保護活動に関する市民の理解不足」は、60歳代(28.0%)、70歳代以上(23.0%)で2割台と高くなっています。

問 21 刑を終えて出所した人の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



刑を終えて出所した人の人権で問題だと思うことは、「刑を終えて出所した人への偏見や差別」が41.2%と最も高く、次いで「社会復帰に向けた相談・支援体制の不足」が35.9%、「社会的自立のための雇用先確保や社会復帰のための修学支援の不足」が31.2%となっています。

過去の調査と比較すると、大きな差はみられませんでした。

【性別・年代別】

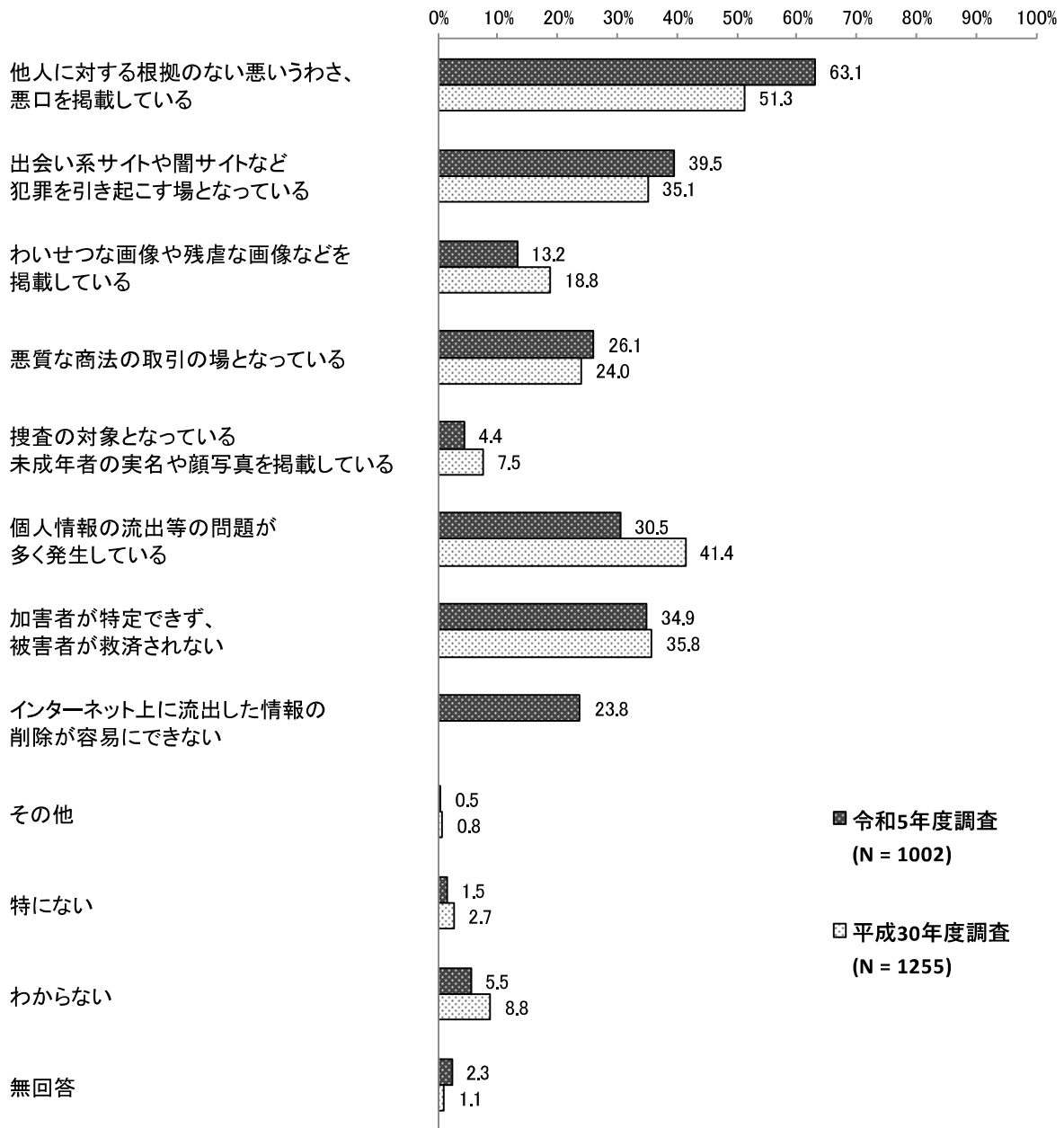
(単位: %)

		回答数(人)	社会復帰に向けた相談・支援体制の不足	社会的自立のための修学支援の不足	住環境が確保できない	出所に住む場所など	福祉サービスを受けることができない	刑を終えて出所した人への偏見や差別	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	35.9	31.2	22.5	3.7	41.2	0.8	9.3	23.7	2.2	
性別	男性	450	34.7	29.1	23.8	4.0	38.9	1.1	12.9	20.4	3.1	
	女性	482	37.6	32.4	21.4	3.9	43.6	0.4	6.0	25.9	1.0	
	その他	18	33.3	33.3	5.6	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3	5.6	
年代	10歳代	54	46.3	33.3	24.1	5.6	44.4	0.0	11.1	5.6	5.6	
	20歳代	68	38.2	30.9	17.6	4.4	41.2	1.5	7.4	23.5	0.0	
	30歳代	104	25.0	24.0	26.9	2.9	44.2	2.9	17.3	19.2	0.0	
	40歳代	150	31.3	29.3	26.7	6.7	35.3	1.3	14.0	21.3	2.0	
	50歳代	172	36.6	36.6	24.4	1.7	39.5	0.6	7.0	25.0	0.6	
	60歳代	193	42.0	31.6	21.8	3.6	44.0	0.0	3.1	27.5	2.1	
	70歳代以上	204	36.3	29.4	16.2	3.9	44.1	0.0	9.3	26.5	3.9	

性別でみると、「刑を終えて出所した人への偏見や差別」は女性（43.6%）の方が男性（38.9%）より4.7ポイント高く、「わからない」は女性（25.9%）の方が男性（20.4%）より5.5ポイント高くなりました。

年代別でみると、大きな差はみられませんでした。

問 22 インターネットによる人権問題のうち、あなたが特に問題だと思われる事例は何ですか。
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



インターネットによる人権侵害のうち問題だと思うことは、「他人に対する根拠のない悪いうわさ、悪口を掲載している」が63.1%と最も高く、次いで「出会い系サイトや闇サイトなど犯罪を引き起こす場となっている」が39.5%、「加害者が特定できず、被害者が救済されない」が34.9%となっています。

過去の調査と比較すると、「他人に対する根拠のない悪いうわさ、悪口を掲載している」（63.1%）は、平成30年度調査（51.3%）より11.8ポイント高く、「個人情報の流出等の問題が多く発生している」（30.5%）は、平成30年度調査（41.4%）より10.9ポイント低くなりました。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。また、「インターネット上に流出した情報の削除が容易にできない」は令和5年度調査のみの選択肢です。

【性別・年代別】

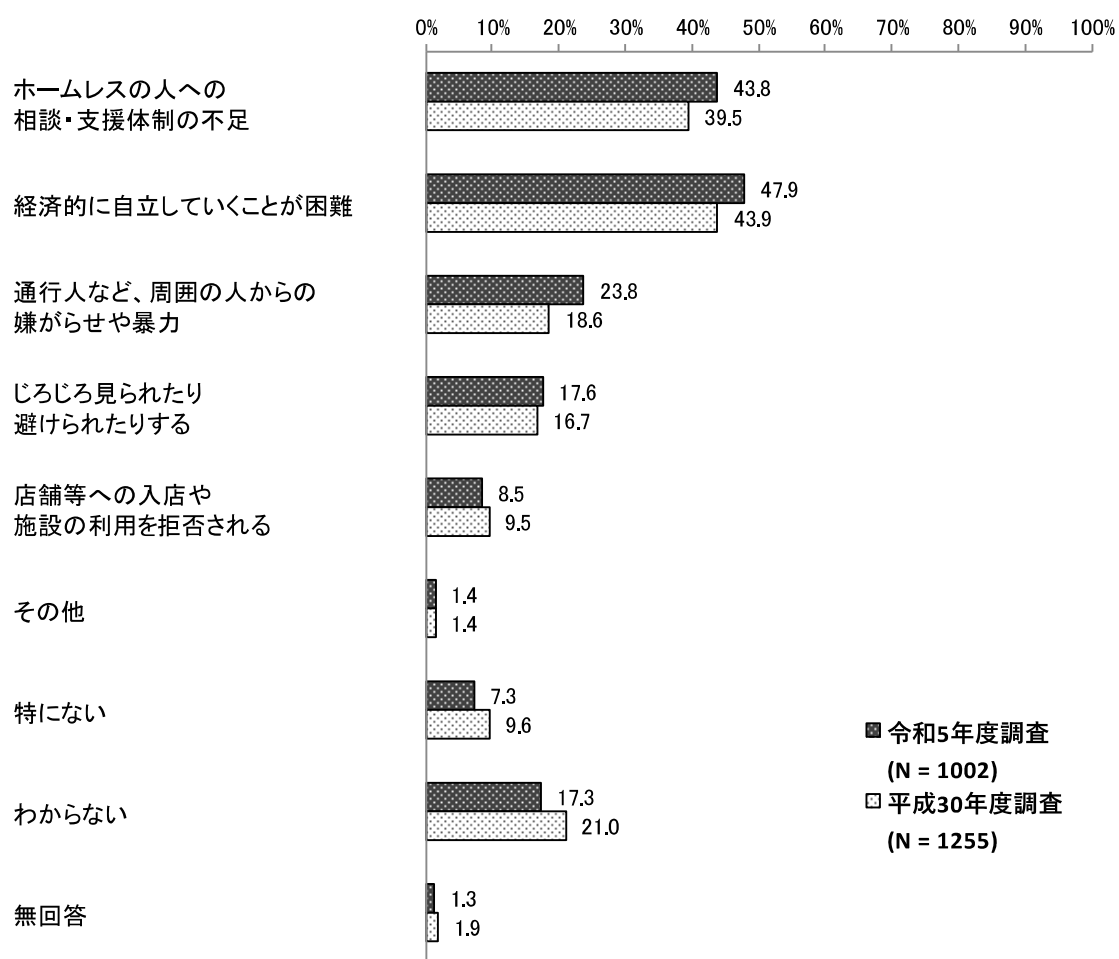
(単位: %)

		回答数(人)	悪口を掲載している	他人に対する根拠のない悪いうわさ、	出会い系サイトや闇サイトなど犯罪を引き起こす場となっている	掲載している画像や残虐な画像などを	悪質な商法の取引の場となっている	未成年者の実名や顔写真を掲載している	捜査の対象となっている	多く発生している等の問題が	個人情報の流出等	被害者が救済されない	加害者が特定できない	削除が容易にできない	インターネット上に流出した情報の	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	63.1	39.5	13.2	26.1	4.4	30.5	34.9	23.8	0.5	1.5	5.5	2.3					
性別	男性	450	61.3	33.8	11.6	30.9	4.7	28.9	37.1	22.4	1.1	1.6	4.9	3.3					
	女性	482	64.5	45.2	13.3	22.2	3.9	32.2	33.4	24.7	0.0	1.5	6.0	1.0					
	その他	18	55.6	33.3	38.9	11.1	11.1	44.4	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0					
年代	10歳代	54	68.5	35.2	18.5	27.8	7.4	31.5	37.0	20.4	0.0	1.9	1.9	0.0					
	20歳代	68	67.6	33.8	8.8	27.9	2.9	38.2	32.4	22.1	1.5	0.0	1.5	1.5					
	30歳代	104	65.4	35.6	16.3	26.0	2.9	40.4	34.6	31.7	1.9	1.0	1.0	1.0					
	40歳代	150	60.7	36.0	18.0	20.7	7.3	35.3	42.0	25.3	0.0	0.7	3.3	2.0					
	50歳代	172	65.1	45.9	11.6	27.9	4.7	30.8	33.1	29.1	0.0	0.6	3.5	1.7					
	60歳代	193	69.9	46.1	10.9	30.1	3.1	25.9	36.8	22.8	0.5	0.0	5.2	2.1					
	70歳代以上	204	51.5	35.3	10.3	24.5	3.9	24.5	31.9	16.7	0.5	4.9	13.2	3.9					

性別でみると、「悪質な商法の取引の場となっている」は男性（30.9%）の方が女性（22.2%）より8.7ポイント高く、「出会い系サイトや闇サイトなど犯罪を引き起こす場となっている」は女性（45.2%）の方が男性（33.8%）より11.4ポイント高くなりました。

年代別でみると、「わからない」は、70歳代以上（13.2%）が高くなっており、年代が上がるにつれて回答割合も高くなる傾向がみられました。

問 23 ホームレスの人の人権のうち、あなたが問題だと思われる事例は何ですか。
(当てはまる番号に○をつけてください。3つ以内)



ホームレスの人の人権で問題だと思うことは、「経済的に自立していくことが困難」が47.9%と最も高く、次いで「ホームレスの人への相談・支援体制の不足」が43.8%、「通行人など、周囲の人からの嫌がらせや暴力」が23.8%となっています。

過去の調査と比較すると、「通行人など、周囲の人からの嫌がらせや暴力」（23.8%）は、平成30年度調査（18.6%）より5.2ポイント高くなりました。

【性別・年代別】

(単位: %)

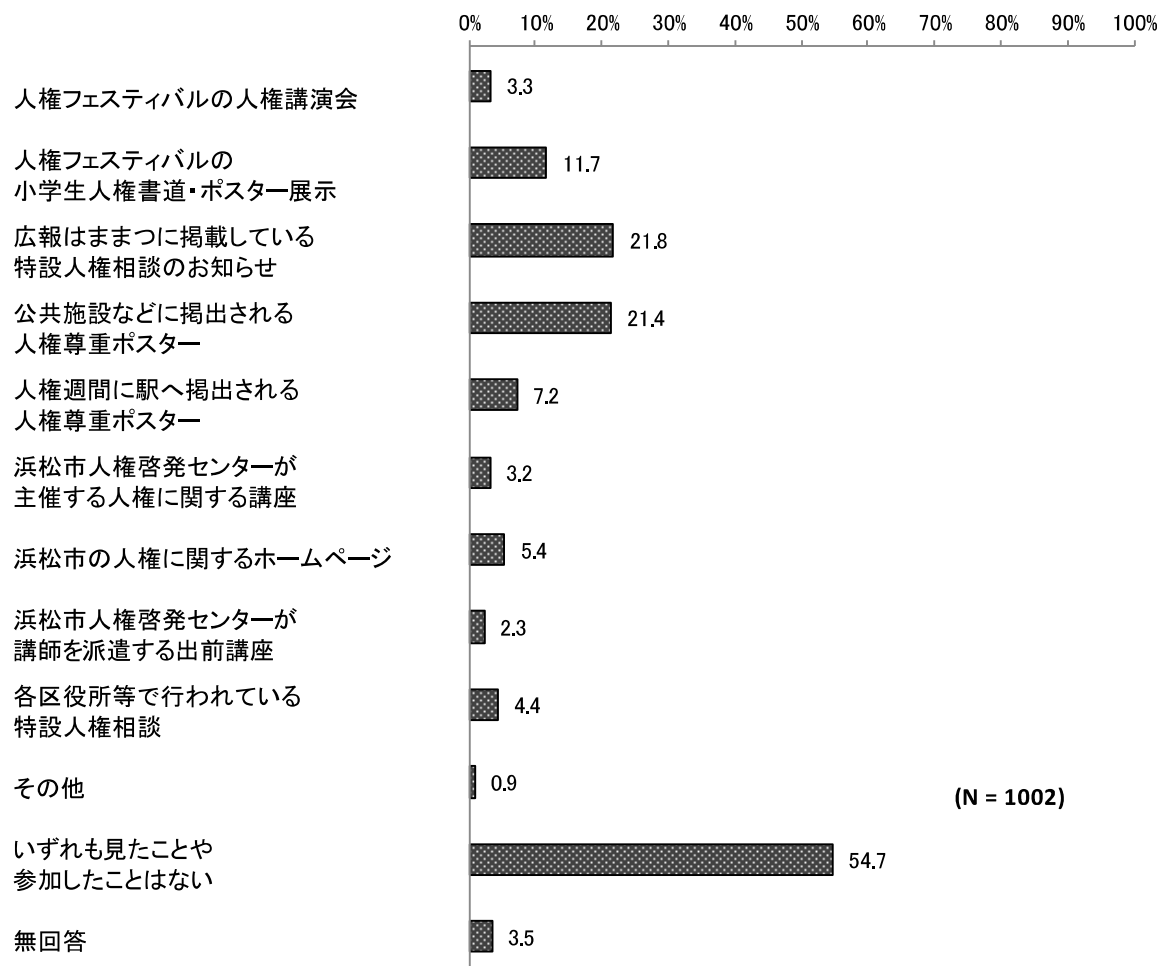
		回答数(人)	ホームレスの人への相談・支援体制の不足	経済的に自立していくことが困難	嫌がらせや暴力、周囲の人からの通行人など	避けられたい	施設の利用を拒否される	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		1002	43.8	47.9	23.8	17.6	8.5	1.4	7.3	17.3	1.3
性別	男性	450	39.3	45.6	23.1	19.1	8.7	1.6	10.4	16.4	1.3
	女性	482	47.7	51.7	24.1	16.0	9.1	1.2	3.7	18.0	0.8
	その他	18	50.0	33.3	27.8	11.1	5.6	0.0	5.6	11.1	0.0
年代	10歳代	54	40.7	50.0	40.7	31.5	22.2	1.9	7.4	5.6	0.0
	20歳代	68	45.6	47.1	23.5	27.9	10.3	2.9	10.3	10.3	0.0
	30歳代	104	32.7	49.0	25.0	24.0	12.5	3.8	9.6	12.5	0.0
	40歳代	150	36.0	56.0	24.7	12.7	6.7	0.7	9.3	13.3	1.3
	50歳代	172	45.3	54.1	20.9	13.4	5.8	0.6	3.5	17.4	0.6
	60歳代	193	53.9	52.8	25.9	13.5	8.3	1.0	5.2	16.6	1.6
	70歳代以上	204	44.6	33.8	17.6	17.6	7.8	1.0	7.4	28.4	2.0

性別でみると、「ホームレスの人への相談・支援体制の不足」は女性（47.7%）の方が男性（39.3%）より8.4ポイント高く、「経済的に自立していくことが困難」は女性（51.7%）の方が男性（45.6%）より6.1ポイント高くなりました。「特にな」は男性（10.4%）の方が女性（3.7%）より6.7ポイント高くなりました。

年代別でみると、「わからない」は70歳代以上（28.4%）が高くなっており、概ね年代が上がるにつれて回答割合も高くなる傾向がみられました。

(10) 浜松市の進める人権施策について

問 24 人権についての理解を深めていただくことを目的に、浜松市ではさまざまな取り組みを進めています。あなたが見たことや、参加したことがあるものを教えてください。
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



浜松市の進める人権施策について、「いずれも見なかったことや参加したことはない」が54.7%と最も高く、次いで「広報はままつに掲載している特設人権相談のお知らせ」が21.8%、「公共施設などに掲出される人権尊重ポスター」が21.4%となっています。

【性別・年代別】

(単位: %)

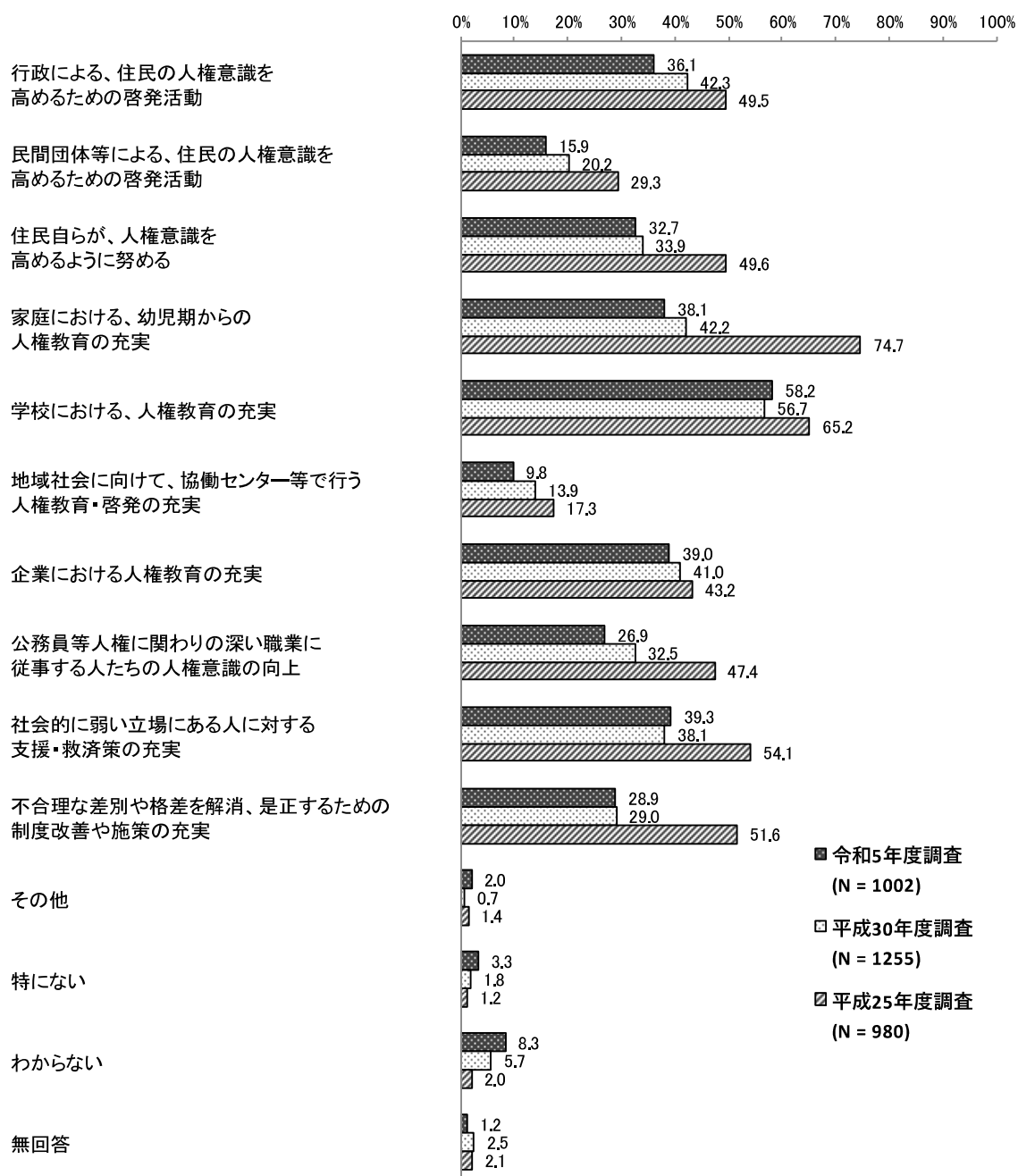
		回答数(人)	人権フェスティバルの人権講演会	小学生人権書道・ポスター展示	人権フェスティバルの 特設人権相談のお知らせ	広報はままつに掲載している 人権尊重ポスター	公共施設などに掲出される 人権尊重ポスター	人権週間に駅へ掲出される 人権尊重ポスター	主催する人権に関する講座 が	浜松市の人権に関するホームページ	浜松市の人権啓発センターが 講師を派遣する出前講座	各区役所等で行われている 特設人権相談	その他	参加したことはない	見てもいいや	無回答
全 体		1002	3.3	11.7	21.8	21.4	7.2	3.2	5.4	2.3	4.4	0.9	54.7	3.5		
性別	男性	450	2.7	8.0	19.3	23.3	8.7	3.3	7.3	2.4	3.6	0.9	56.4	3.6		
	女性	482	3.5	15.1	24.3	19.9	5.6	2.5	3.7	1.2	5.0	1.0	52.7	3.1		
	その他	18	5.6	5.6	16.7	16.7	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	61.1	5.6		
年代	10歳代	54	3.7	7.4	9.3	29.6	1.9	3.7	18.5	1.9	0.0	1.9	51.9	0.0		
	20歳代	68	4.4	4.4	11.8	23.5	8.8	1.5	4.4	2.9	1.5	0.0	69.1	1.5		
	30歳代	104	1.0	6.7	17.3	12.5	3.8	1.0	4.8	0.0	1.9	0.0	65.4	2.9		
	40歳代	150	4.7	16.0	20.7	19.3	10.0	4.7	4.7	1.3	4.7	1.3	47.3	1.3		
	50歳代	172	2.9	16.3	18.6	17.4	7.0	2.3	5.8	1.7	4.7	1.7	58.7	1.7		
	60歳代	193	3.6	15.0	29.0	28.5	8.8	2.6	5.2	2.1	4.1	0.5	46.6	5.2		
	70歳代以上	204	2.5	7.4	27.9	22.1	5.9	3.9	3.4	2.5	6.9	1.0	54.4	5.9		

性別でみると、「人権フェスティバルの小学生人権書道・ポスター展示」は女性（15.1%）の方が男性（8.0%）より7.1ポイント高く、「広報はままつに掲載している特設人権相談のお知らせ」は女性（24.3%）の方が男性（19.3%）より5.0ポイント高くなりました。

年代別でみると、「広報はままつに掲載している特設人権相談のお知らせ」は、概ね年代が上がるにつれて回答割合も高くなる傾向がみられました。

(11) 人権に関する取り組みについて

問 25 人権が尊重される社会を実現するために、あなたが必要だと思われる取り組みは何ですか。
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



人権に関する取り組みについては、「学校における、人権教育の充実」が58.2%と最も高く、次いで「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実」が39.3%、「企業における人権教育の充実」が39.0%となっています。

過去の調査と比較すると、「行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動」（36.1%）は平成30年度調査（42.3%）より6.2ポイント低く、「学校における、人権教育の充実」（58.2%）は平成30年度調査（56.7%）より1.5ポイント高くなりました。

【性別・年代別】

(単位: %)

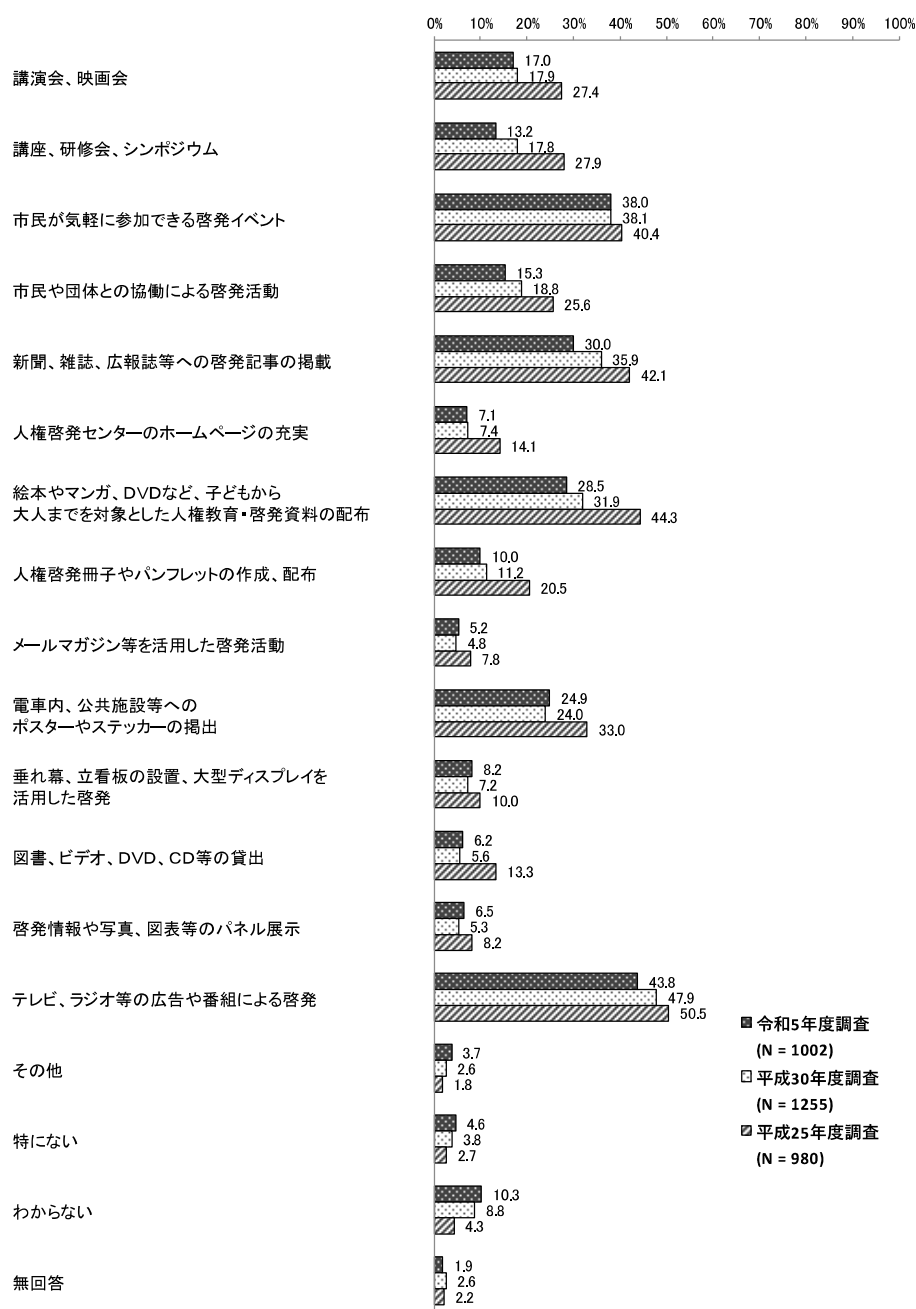
		回答数(人)	行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動	民間団体等による、住民の人権意識を高めるための啓発活動	住民自らが、人権意識を高めるように努める	家庭における、幼児期からの人権教育の充実	学校における、人権教育の充実	地域社会に向けて、協働センター等で行う人権教育・啓発の充実	企業における人権教育の充実	従事する人たちの人権意識の深い職業に	公務員等の人権に関わりの深い職業に	社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実	制度的改善や格差を解消、是正するための	その他	特になし	わからない	無回答
全 体		1002	36.1	15.9	32.7	38.1	58.2	9.8	39.0	26.9	39.3	28.9	2.0	3.3	8.3	1.2	
性別	男性	450	37.1	16.2	31.8	34.0	56.0	11.1	36.7	25.8	34.7	29.3	3.1	4.7	6.9	1.1	
	女性	482	36.3	15.4	34.2	41.7	60.2	9.8	41.9	28.4	44.6	29.5	1.0	1.7	9.5	1.0	
	その他	18	16.7	5.6	27.8	38.9	50.0	0.0	22.2	16.7	38.9	16.7	5.6	0.0	16.7	0.0	
年代	10歳代	54	24.1	11.1	29.6	46.3	55.6	9.3	40.7	16.7	40.7	38.9	1.9	1.9	9.3	0.0	
	20歳代	68	38.2	20.6	25.0	30.9	57.4	17.6	39.7	29.4	36.8	29.4	1.5	7.4	7.4	0.0	
	30歳代	104	28.8	10.6	25.0	43.3	71.2	6.7	49.0	19.2	37.5	24.0	4.8	2.9	5.8	0.0	
	40歳代	150	28.7	10.7	31.3	42.0	62.7	6.0	36.0	20.7	36.0	27.3	2.7	1.3	5.3	0.7	
	50歳代	172	34.3	19.2	29.1	39.0	53.5	9.3	40.7	25.6	39.5	27.3	2.9	1.7	12.2	1.2	
	60歳代	193	47.2	19.7	42.0	43.0	63.2	10.9	45.6	42.0	40.9	31.6	0.5	2.6	6.7	1.0	
	70歳代以上	204	40.7	14.2	37.3	26.5	47.1	13.2	28.9	25.0	43.6	30.4	1.5	4.9	10.8	2.5	

性別でみると、「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実」は女性（44.6%）の方が男性（34.7%）より9.9ポイント高く、「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」は女性（41.7%）の方が男性（34.0%）より7.7ポイント高く、「企業における人権教育の充実」は女性（41.9%）の方が男性（36.7%）より5.2ポイント高くなりました。

年代別でみると、「行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動」は60歳代（47.2%）、70歳代以上（40.7%）で4割台と高くなっています。

(12) 効果的な啓発活動について

問 26 人権尊重の理解を深めるために、あなたが特に効果的だと思われる啓発活動は何ですか。
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



効果的な啓発活動については、「テレビ、ラジオ等の広告や番組による啓発」が43.8%と最も高く、次いで「市民が気軽に参加できる啓発イベント」が38.0%、「新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載」が30.0%となっています。

過去の調査と比較すると、「新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載」（30.0%）は平成30年度調査（35.9%）より5.9ポイント低く、年々低くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

(単位: %)

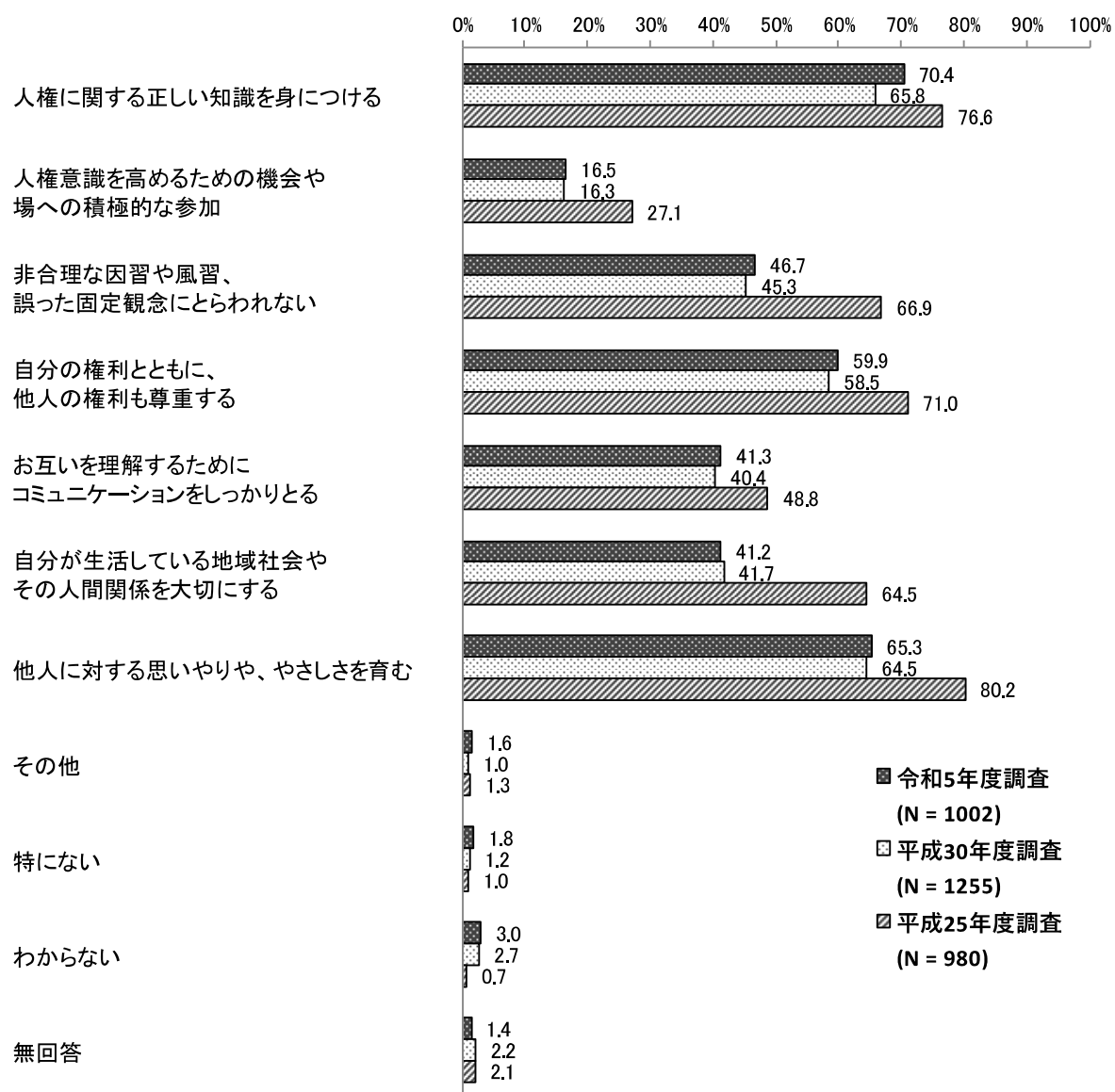
		回答数(人)	講演会、映画会	講座、研修会、シンポジウム	市民が気軽に参加できる啓発イベント	市民や団体との協働による啓発活動	新聞、雑誌、広報誌等への啓発記事の掲載	人権啓発センターのホームページの充実	絵本やマンガ、DVDなど、子どもから大人までを対象とした人権教育・啓発資料の配布	人権啓発冊子やパンフレットの作成、配布	メールマガジン等を活用した啓発活動	電車内、公共施設等へのポスターやステッカーの掲出	垂れ幕、立看板の設置、大型ディスプレイを活用した啓発	図書、ビデオ、DVD、CD等の貸出	啓発情報や写真、図表等のパネル展示	テレビ、ラジオ等の広告や番組による啓発	その他	特にない	わからない	無回答
全体		1002	17.0	13.2	38.0	15.3	30.0	7.1	28.5	10.0	5.2	24.9	8.2	6.2	6.5	43.8	3.7	4.6	10.3	1.9
性別	男性	450	18.0	17.6	32.2	16.4	29.1	7.6	21.6	8.2	5.3	25.3	9.6	5.8	8.0	45.1	4.4	5.3	9.8	1.3
	女性	482	16.4	10.2	44.8	16.0	32.2	7.1	35.5	11.4	5.2	25.3	7.5	7.5	5.8	44.0	2.9	3.5	10.6	1.9
	その他	18	11.1	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	33.3	11.1	5.6	22.2	0.0	0.0	5.6	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0
年代	10歳代	54	22.2	7.4	29.6	14.8	29.6	13.0	33.3	14.8	18.5	35.2	22.2	18.5	13.0	50.0	3.7	1.9	3.7	0.0
	20歳代	68	8.8	5.9	25.0	13.2	27.9	10.3	41.2	11.8	8.8	36.8	16.2	8.8	11.8	42.6	5.9	4.4	10.3	0.0
	30歳代	104	14.4	17.3	28.8	9.6	16.3	8.7	32.7	8.7	1.9	29.8	10.6	1.9	9.6	38.5	7.7	6.7	3.8	1.9
	40歳代	150	16.0	11.3	35.3	12.0	22.7	6.0	31.3	4.0	2.0	29.3	6.7	9.3	5.3	50.0	5.3	3.3	12.7	0.7
	50歳代	172	18.0	15.1	34.3	18.0	30.2	7.6	24.4	8.1	6.4	24.4	10.5	6.4	5.2	44.2	4.1	3.5	14.5	1.7
	60歳代	193	17.6	15.5	43.5	21.2	36.8	6.7	28.0	13.0	5.7	22.8	4.7	5.2	5.7	45.6	1.0	3.6	9.3	4.1
	70歳代以上	204	18.6	14.2	52.0	16.7	38.2	4.9	24.0	11.8	3.4	16.7	3.9	4.4	5.9	40.7	1.5	5.9	11.3	0.5

性別でみると、「絵本やマンガ、DVDなど、子どもから大人までを対象とした人権教育・啓発資料の配布」は女性（35.5%）の方が男性（21.6%）より13.9ポイント高く、「市民が気軽に参加できる啓発イベント」は女性（44.8%）の方が男性（32.2%）より12.6ポイント高くなりました。

年代別でみると、「市民が気軽に参加できる啓発イベント」は70歳代以上（52.0%）が高くなっており、年代が上がるにつれて概ね回答割合が高くなっています。

(13) 市民一人ひとりが心がけることについて

問 27 お互いの人権が尊重されるために、市民一人ひとりがすべきことはどれだと思いますか。
(当てはまる番号すべてに、○をつけてください。)



市民一人ひとりが心がけることについては、「人権に関する正しい知識を身につける」が70.4%と最も高く、次いで「他人に対する思いやりや、やさしさを育む」が65.3%、「自分の権利とともに、他人の権利も尊重する」が59.9%となっています。

過去の調査と比較すると、「人権に関する正しい知識を身につける」（70.4%）は平成30年度調査（65.8%）より4.6ポイント高くなっています。

※調査年度により各選択肢の文言が若干異なっています。

【性別・年代別】

(単位: %)

		回答数（人）	人権に関する正しい知識を身につける	人権意識を高めるための機会や場への積極的な参加	誤った固定観念にとらわれない	非合理的な因習や風習、他人の権利も尊重する	自分の権利とともに、他人の権利も尊重する	お互いを理解するためにコミュニケーションをしっかりとる	自分が生活している地域社会やその人間関係を大切ににする	他人に対する思いやりや、やさしさを育む	その他	特にない	わからない	無回答
全 体		1002	70.4	16.5	46.7	59.9	41.3	41.2	65.3	1.6	1.8	3.0	1.4	
性 別	男性	450	67.3	18.7	43.6	56.7	40.7	40.4	58.7	2.0	2.9	3.3	0.9	
	女性	482	74.3	14.5	50.2	63.3	41.9	43.6	71.6	1.2	0.8	2.5	1.5	
	その他	18	50.0	5.6	33.3	44.4	27.8	22.2	72.2	0.0	0.0	11.1	0.0	
年 代	10歳代	54	77.8	16.7	46.3	63.0	46.3	25.9	50.0	1.9	0.0	3.7	0.0	
	20歳代	68	67.6	16.2	36.8	50.0	50.0	23.5	54.4	0.0	4.4	4.4	0.0	
	30歳代	104	72.1	18.3	53.8	59.6	50.0	39.4	62.5	1.9	2.9	1.0	1.9	
	40歳代	150	74.0	14.0	41.3	56.7	40.0	35.3	69.3	1.3	1.3	1.3	0.0	
	50歳代	172	70.3	11.6	48.8	61.0	39.5	36.0	67.4	2.3	1.2	5.2	0.0	
	60歳代	193	75.6	19.7	50.3	64.8	37.3	49.2	69.9	1.6	1.0	2.1	3.6	
	70歳代以上	204	61.8	18.1	45.6	59.8	38.2	54.9	66.2	1.5	2.5	3.9	1.0	

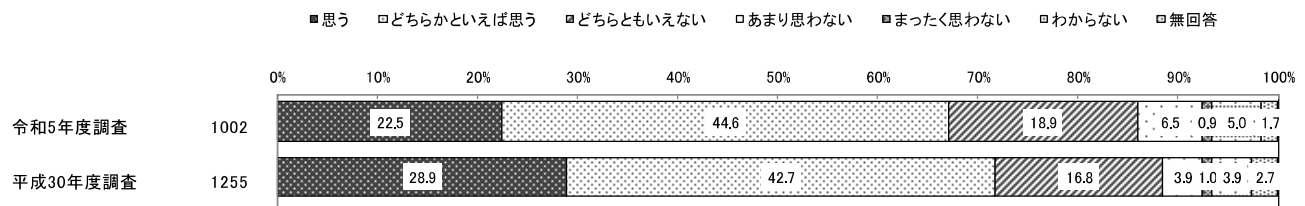
性別でみると、「他人に対する思いやりや、やさしさを育む」は、女性（71.6%）の方が男性（58.7%）より12.9ポイント高くなっています。「人権に関する正しい知識を身につける」「非合理的な因習や風習、誤った固定観念にとらわれない」「自分の権利とともに、他人の権利も尊重する」は女性の方が男性より回答割合が6ポイント以上高くなっています。

年代別でみると、「自分が生活している地域社会やその人間関係を大切ににする」は60歳代（49.2%）、70歳代以上（54.9%）で高くなっており、年代が上がるにつれて概ね回答割合が高くなっています。

(14) 人権について

問 28 あなたは、さまざまな人権について知りたい、理解したいと思われますか。

(当てはまる番号に1つだけ、○をつけてください。)



さまざまな人権について知りたい、理解したいかについて、「どちらかといえば思う」が44.6%と最も高く、次いで「思う」が22.5%、「どちらともいえない」が18.9%となっています。

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』は67.1%となり、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた『思わない』（7.4%）を59.7ポイント上回りました。

過去の調査と比較すると、『思う』（67.1%）は、平成30年度調査（71.6%）より4.5ポイント低くなっています。

【性別・年代別】

(単位: %)

		回答数 (人)	思う	どちらか といえば 思う	どちらとも いえない	あまり 思わない	まったく 思わない	わから ない	無 回 答
全 体		1002	22.5	44.6	18.9	6.5	0.9	5.0	1.7
性 別	男性	450	19.1	44.0	19.3	8.9	1.6	5.3	1.8
	女性	482	24.5	46.1	18.9	4.4	0.4	4.6	1.2
	その他	18	16.7	50.0	22.2	5.6	0.0	5.6	0.0
年 代	10歳代	54	37.0	46.3	14.8	0.0	0.0	1.9	0.0
	20歳代	68	27.9	55.9	5.9	7.4	0.0	2.9	0.0
	30歳代	104	20.2	45.2	20.2	8.7	0.0	3.8	1.9
	40歳代	150	21.3	48.0	17.3	8.0	1.3	3.3	0.7
	50歳代	172	19.2	45.3	19.2	6.4	1.7	6.4	1.7
	60歳代	193	20.7	44.0	21.8	4.1	1.0	5.2	3.1
	70歳代以上	204	20.1	40.7	22.1	8.3	1.0	6.9	1.0

性別でみると、『思う』は、女性（70.6%）の方が男性（63.1%）より7.5ポイント高くなりました。

年代別でみると、『思う』は10歳代（83.3%）、20歳代（83.8%）で高くなっており、年代が下がるにつれて概ね回答割合が高くなっています。

令和 5 年度 人権に関する意識調査報告書

令和 6 年 3 月発行

浜松市健康福祉部 福祉総務課 人権啓発センター

〒430-0916 浜松市中央区早馬町 2 番地の 1

電話 (053)457-2031 Fax (053)450-7702

e-mail jinken@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>
